



KONICA MINOLTA

Accurio*Pro* Color Manager

ユーザースガイド

もくじ

1 はじめに

1.1	登録商標および商標	1-2
1.1.1	商標について	1-2
1.2	AccurioPro ColorManager の概要	1-3
	AccurioPro ColorManager とは	1-3
	[アカウント選択]: [一般] / [管理者]	1-4
	対応機種/対応測色器	1-4
	動作環境	1-4

2 アプリケーションソフトのインストール/アンインストール

2.1	AccurioPro ColorManager のインストール	2-2
	概要	2-2
	手順	2-2
2.2	ライセンス認証	2-4
2.2.1	ライセンスについて	2-4
2.2.2	コンピューターがネットワークに接続されている場合	2-4
	概要	2-4
	手順 (ライセンスを有効にする)	2-5
	手順 (ライセンスを無効にする)	2-6
2.2.3	コンピューターがネットワークに接続されていない場合	2-7
	概要	2-7
	手順 (ライセンスを有効にする)	2-7
	手順 (ライセンスを無効にする)	2-8
2.2.4	他のコンピューターのライセンス認証を代理で行う	2-9
	概要	2-9
	手順 (他のコンピューターのライセンスを有効にする)	2-9
	手順 (他のコンピューターのライセンスを無効にする)	2-10
2.2.5	ライセンスを他のコンピューターに移行する	2-11
	概要	2-11
	手順	2-11
2.3	AccurioPro ColorManager のアンインストール	2-12
	概要	2-12
	手順	2-12

3 使いかた

3.1	画面の説明	3-2
	ホーム画面	3-2
3.2	作業フロー	3-4
	さまざまな作業フロー	3-4
	日常のフロー	3-4
	高精細なフロー	3-5
	新しい用紙を使うとき	3-5
	スクリーンを変更したとき	3-6
3.3	[プリンターリスト]	3-7
3.3.1	プリンターを設定する	3-7
	概要	3-7
	手順 (プリンターを新規登録する)	3-7
	手順 (登録したプリンターの情報を編集する)	3-11
	手順 (プリンターを削除する)	3-12
3.3.2	[通信設定] 画面	3-12
3.3.3	[認証設定] 画面	3-14
3.4	[管理]	3-15
3.4.1	[色管理のフロー]	3-15
3.4.2	[カスタムターゲットプロファイル]	3-16
	概要	3-16

	手順 ([カスタムターゲットプロファイル] を新規登録する).....	3-16
	手順 ([カスタムターゲットプロファイル] を編集する).....	3-17
3.4.3	[カスタム RGB ソースプロファイル].....	3-17
	概要.....	3-17
	手順 ([カスタム RGB ソースプロファイル] を新規登録する).....	3-18
	手順 ([カスタム RGB ソースプロファイル] を編集する).....	3-18
3.4.4	[ターゲットコンフィグレーション].....	3-19
	概要.....	3-19
	[ターゲットコンフィグレーション] とは.....	3-19
	手順 ([ターゲットコンフィグレーション] を新規登録する).....	3-20
	手順 ([ターゲットコンフィグレーション] を編集する).....	3-22
3.4.5	[色管理プリセット].....	3-23
	概要.....	3-23
	[色管理プリセット] とは.....	3-23
	手順 ([色管理プリセット] を新規登録する).....	3-24
	手順 ([色管理プリセット] を編集する).....	3-26
3.5	カラーマネジメント	3-28
3.5.1	[ツールメニュー] / [ワークフローメニュー].....	3-28
	概要.....	3-28
	設定項目.....	3-28
3.5.2	[色検証].....	3-29
	概要.....	3-29
	手順.....	3-30
3.5.3	[プロファイル作成].....	3-32
	概要.....	3-32
	手順.....	3-32
3.5.4	[色関連設定管理].....	3-36
	概要.....	3-36
	[色関連設定管理] 画面.....	3-37
	[コントローラー初期設定] 画面.....	3-38
	[用紙プロファイル設定] 画面.....	3-41
	[キャリブレーショングループ設定] 画面.....	3-42
	[キャリブレーション管理] 画面.....	3-43
	[スポットカラー管理] 画面.....	3-44
	[カラープロファイル管理] 画面.....	3-45
3.5.5	[スポットカラー作成].....	3-46
	概要.....	3-46
	手順.....	3-46
3.5.6	[濃度バランス調整].....	3-51
	概要.....	3-51
	手順.....	3-52
3.5.7	[用紙別カラーセンサー調整].....	3-54
	概要.....	3-54
	手順.....	3-54
3.5.8	[最高濃度調整].....	3-57
	概要.....	3-57
	手順.....	3-57
3.5.9	[キャリブレーション].....	3-60
	概要.....	3-60
	手順.....	3-60
3.5.10	[Exact Color キャリブレーション].....	3-63
	概要.....	3-63
	手順.....	3-64
3.5.11	[G7 キャリブレーション].....	3-65
	概要.....	3-65
	手順.....	3-65

4 よくあるご質問

Q. プリンターの IP アドレスはどこで確認できますか？.....	4-2
Q. イメージコントローラーと接続できません。.....	4-2



Q. どのようなときに AccurioPro ColorManager にアクセスできなくなりますか？	4-2
Q. 高度なコントローラーキャリブレーションを Exact Color から G7 キャリブレーションに切替えるには、どうすればよいですか？	4-2
Q. AccurioPro ColorManager がユーザーの個人データを使用することはありますか？	4-2
Q. ライセンスの有効期限が切れるとどうなりますか？	4-2
Q. コンピューターが壊れたためにライセンス移行ができない場合は、どうすればよいですか？ .	4-3
Q. ライセンスを無効化しないまま、AccurioPro ColorManager をアンインストールしてしまいました。ライセンスを無効にするには、どうすればよいですか？	4-3

5 著作権／ライセンス情報

5.1	AccurioPro ColorManager	5-2
-----	-------------------------------	-----



1

はじめに

1 はじめに

1.1 登録商標および商標

1.1.1 商標について

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、シンボルマーク、AccurioPro ColorManager、AccurioPress、AccurioPro、AccurioPrint、AccurioLabel は、コニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows 10 および Windows 11 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



重要

- 本書の一部またはすべての内容を、無断で複製したり、他言語に翻訳したり、引用したりすることは、固くお断りします。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- Copyright © 2023 KONICA MINOLTA, INC. All rights reserved.



参考

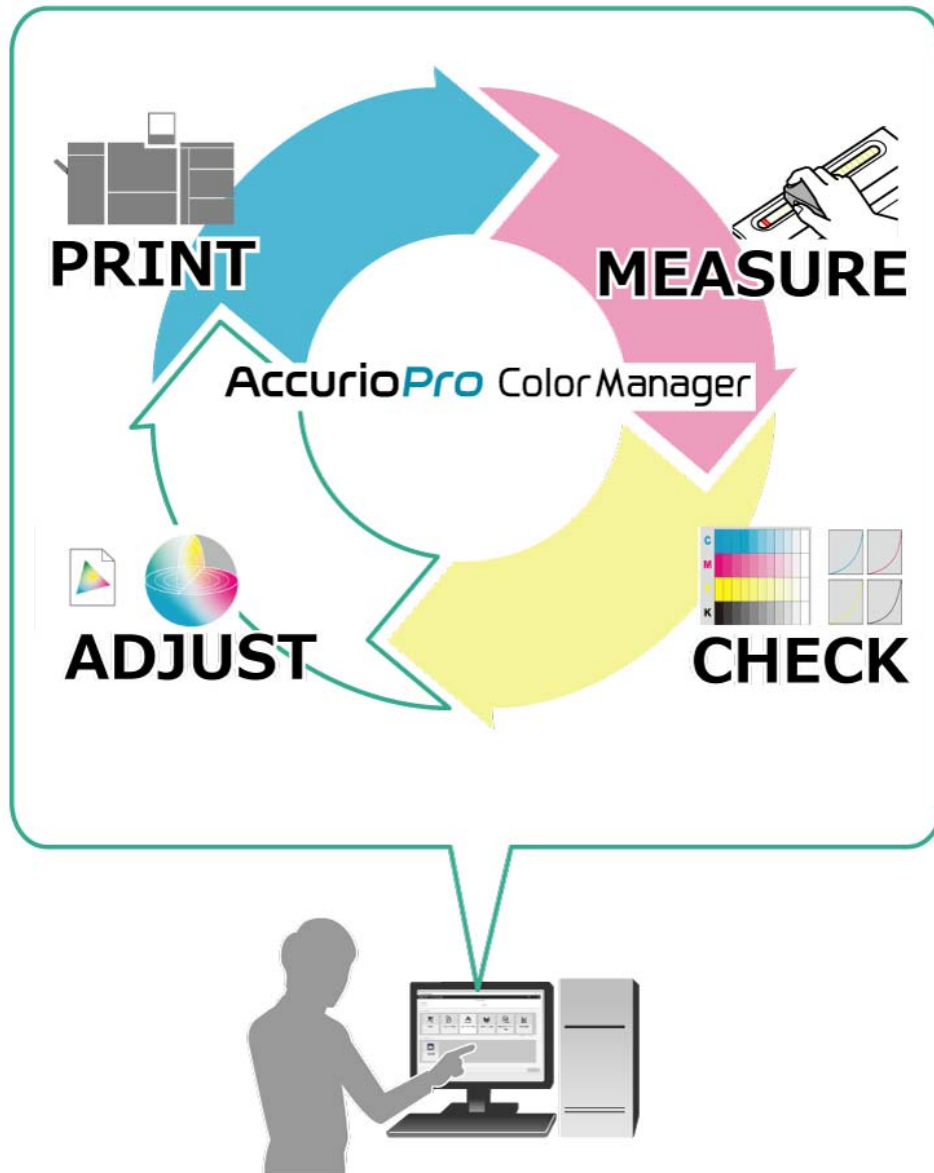
- 装置や設定によって、本書に記載されている画面の内容と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容は、AccurioPro ColorManager 2.0 に対応しています。
- マニュアル内の本アプリケーションに関する説明や各種画面イメージ、対応機種は、2024年2月現在のものです。
- 予告なしに変更される場合があります。

1.2 AccurioPro ColorManager の概要

AccurioPro ColorManager とは

AccurioPro ColorManager は、カラーマネジメントをコンピューター上で効率的に行うためのアプリケーションです。

色合わせなどの各種調整と、色管理に必要な機能が統合されているため、誰でも簡単にカラーマネジメントが行えます。



[アカウント選択] : [一般] / [管理者]

AccurioPro ColorManager は、使用するユーザーによって、操作するアカウントを変更できます。アカウントによって操作できる機能が異なります。

- [一般] : 一般オペレーター用のアカウントです。日常的なカラーマネジメント機能のみ操作できます。
- [管理者] : 管理者用のアカウントです。すべての機能（事前設定および日常的なカラーマネジメント機能）を操作できます。

アカウントは、ホーム画面で切替えます。詳しくは、3-2 ページをごらんください。

対応機種 / 対応測色器

プリンターによって、使用できるオプションや測色器が異なる場合があります。

機種名	測色器 / 濃度計
<ul style="list-style-type: none"> ■ AccurioPress C14000 / AccurioPress C12000 	<ul style="list-style-type: none"> ■ MYIRO-1
<ul style="list-style-type: none"> ■ AccurioPress C4080 / AccurioPress C4070 	<ul style="list-style-type: none"> ■ MYIRO-9
<ul style="list-style-type: none"> ■ AccurioPress C7100 / AccurioPress C7090 	<ul style="list-style-type: none"> ■ FD-7
<ul style="list-style-type: none"> ■ AccurioLabel 400 	<ul style="list-style-type: none"> ■ FD-9
<ul style="list-style-type: none"> ■ AccurioPress C84hc 	<ul style="list-style-type: none"> ■ FD-5BT
<ul style="list-style-type: none"> ■ AccurioPress 7136 / AccurioPress 7136P / AccurioPress 7120 	<ul style="list-style-type: none"> ■ i1 Pro
<ul style="list-style-type: none"> ■ AccurioPress 6272P 	<ul style="list-style-type: none"> ■ i1 Pro2
<ul style="list-style-type: none"> ■ AccurioPrint 2100 	<ul style="list-style-type: none"> ■ i1 Pro3
	<ul style="list-style-type: none"> ■ i1 iO / i1 iO2 / i1 iO3
	<ul style="list-style-type: none"> ■ i1 iSis / XL / 2 / 2 XL
	<ul style="list-style-type: none"> ■ インテリジェントクオリティオブティマイザー IQ-501
	<ul style="list-style-type: none"> ■ インテリジェントクオリティオブティマイザー IQ-520
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中継搬送ユニット RU-518m

動作環境

対応 OS	Windows 10 / 11* macOS 10.15 / 11 / 12 / 13 * : 64 bit 版含む。
CPU	Intel Core i7-7500U CPU 2.70 GHz (推奨)
メモリー	8.0 GB 以上
HDD	250 GB 以上
ディスプレイ解像度	1600 × 900 (推奨)



2

アプリケーションソフトのインストール／アンインストール

2 アプリケーションソフトのインストール/アンインストール

2.1 AccurioPro ColorManager のインストール

概要

AccurioPro ColorManager をインストールします。

手順

- 1 AccurioPro ColorManager の setup.exe をダブルクリックします。
言語選択画面が表示されます。
 - ✓ [ユーザーアカウント制御] に関する画面が表示されるときは、管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[はい] をクリックします。
- 2 メニューリストで言語を選択し、[OK] をクリックします。
インストーラーが起動します。
 - ✓ 画面の指示に従ってインストールを行います。
- 3 [次へ] をクリックします。
[使用許諾契約] 画面が表示されます。
- 4 内容を確認し、[使用許諾契約の条項に同意します] を選択して [次へ] をクリックします。
 - ✓ 同意していただけない場合はインストールできません。
- 5 [インストール] をクリックします。



-
- 6 [完了] をクリックします。
インストールが完了します。

2.2 ライセンス認証

2.2.1 ライセンスについて

AccurioPro ColorManager を使用するには、ライセンス認証が必要です。

ライセンスの種類によって、使用できる機能が異なります。

- ライセンスの種類

ライセンス	説明
トライアルモード	初回のインストール時に、AccurioPro ColorManager Basic の機能を 30 日間だけ試験使用できます。
AccurioPro ColorManager Basic	1 年間の有償ライセンスです。[濃度バランス調整] や [最高濃度調整] などのエンジンベースの調整に加えて、[プロファイル作成] および [色検証] の機能を使用できます。

- ライセンスの操作一覧

操作	説明
ライセンスを有効にする	インストールした AccurioPro ColorManager のライセンス認証を行います。ライセンス認証することで、アプリケーションを使用できるようになります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ オンラインの場合：2-5 ページ ■ オフラインの場合：2-7 ページ
ライセンスを無効にする	AccurioPro ColorManager をアンインストールする前に、ライセンスを無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> ■ オンラインの場合：2-6 ページ ■ オフラインの場合：2-8 ページ
他のコンピューターのライセンスを有効にする (2-9 ページ)	他のコンピューターの端末固有 ID を使用して、ライセンス認証を代理で行います。 ネットワークに接続されていないコンピューターでライセンス認証を行いたい場合などに便利です。
他のコンピューターのライセンスを無効にする (2-10 ページ)	他のコンピューターの端末固有 ID を使用して、ライセンス解除を代理で行います。 ライセンス管理者が更新処理などを行う場合に便利です。
ライセンスを他のコンピューターに移行する (2-11 ページ)	他のコンピューターで AccurioPro ColorManager を操作できるようにライセンスを移行します。

2.2.2 コンピューターがネットワークに接続されている場合

概要

コンピューターがネットワークに接続されている場合に、ライセンスを有効または無効にします。



重要

- ライセンスの認証操作を行う場合は、事前にライセンス EID を取得してください。ライセンスの EID は、ライセンス購入ユーザーに通知されます。

手順（ライセンスを有効にする）

1 AccurioPro ColorManager を起動します。

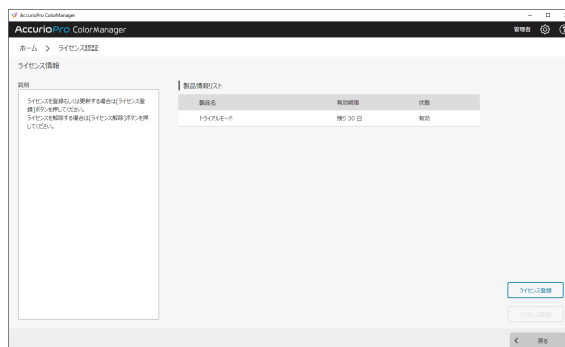
2 [アカウント選択] で [管理者] を選択します。



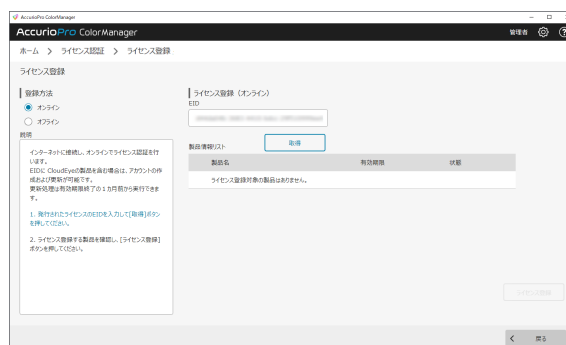
3 をクリックし、[ライセンス認証] - [このPCのソフトウェア] を選択します。
[ライセンス情報] 画面が表示されます。



4 [ライセンス登録] をクリックします。
[ライセンス登録] 画面が表示されます。



- 5 EIDを入力し、[取得] をクリックします。
[製品情報リスト] にライセンス名が表示されます。
- ✓ ライセンスのEIDは、ライセンス購入ユーザーに通知されます。

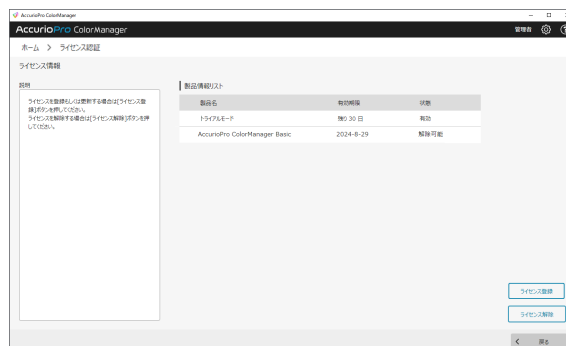


- 6 [ライセンス登録] をクリックします。
ライセンスが有効になります。

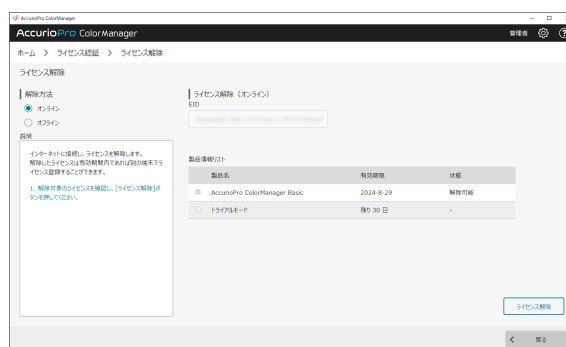
手順（ライセンスを無効にする）

- 1 2-5 ページの手順 1 ~ 手順 3 を参照し、[ライセンス情報] 画面を開きます。

- 2 [ライセンス解除] をクリックします。
[ライセンス解除] 画面が表示されます。



- 3 無効にするライセンスを選択し、[ライセンス解除] をクリックします。





参考

- ライセンス解除後は、[ライセンス情報] 画面で、解除したライセンスの製品名や有効期限が表示されていないことを確認してください。

2.2.3 コンピューターがネットワークに接続されていない場合

概要

コンピューターがネットワークに接続されていない場合に、ライセンスを有効または無効にします。

手順（ライセンスを有効にする）

- 1 2-5 ページの手順 1 ~ 手順 4 を参照し、[ライセンス登録] 画面を開きます。

- 2 [登録方法] で [オフライン] を選択します。



- 3 [エクスポート] をクリックし、ライセンス登録情報のファイルを USB メモリーなどの外付け記憶媒体に保存します。

- 4 ライセンス管理者にライセンス登録情報ファイルの登録を依頼します。
 - ✓ ライセンス管理者の操作手順について詳しくは、2-9 ページをごらんください。

- 5 [インポート ...] をクリックし、ライセンスキーファイルをインポートします。
 - ✓ ライセンスキーファイルとは、2-9 ページの手順 7 で管理者が発行したファイルです。

手順（ライセンスを無効にする）

- 1 2-5 ページの手順 1 ～ 手順 4 を参照し、[ライセンス登録] 画面を開きます。

- 2 [解除方法] で、[オフライン] を選択します。



- 3 [ライセンス解除情報ファイルの生成] で [エクスポート] をクリックします。
ライセンス解除情報ファイルが発行されます。

- 4 ライセンス管理者にパーミッションチケットファイルの発行を依頼します。
✓ ライセンス管理者の操作手順について詳しくは、2-10 ページをごらんください。

- 5 [パーミッションチケットの読み込み] で [インポート...] をクリックし、パーミッションチケットをインポートします。
✓ パーミッションチケットファイルとは、2-10 ページの手順 4 ～ 手順 5 で管理者が発行したファイルです。

- 6 [ライセンス解除証明書の発行] で、[発行] をクリックします。
ライセンス解除証明書が発行されます。

- 7 [ライセンス解除証明書の保存] で [保存...] をクリックします。
✓ ライセンス解除証明書は、ライセンス管理者に渡してください。

参考

- ライセンス解除後は、[ライセンス情報] 画面で、解除したライセンスの製品名や有効期限が表示されていないことを確認してください。

2.2.4 他のコンピューターのライセンス認証を代理で行う

概要

他のコンピューターの端末固有 ID を使用して、ライセンス認証または解除を代理で行うことができます。ライセンス管理者が更新処理などを行う場合に便利です。

★ 重要

- ライセンスの認証操作を行う場合は、事前にライセンス EID を取得してください。ライセンスの EID は、ライセンス購入ユーザーに通知されます。

🗨️ 参考


- この操作は、認証操作を行うコンピューターがネットワークに接続されている場合に行えます。
- ライセンスの更新処理は、ライセンスが終了する 1ヶ月前から行えます。

手順（他のコンピューターのライセンスを有効にする）

- 1 AccurioPro ColorManager を起動します。

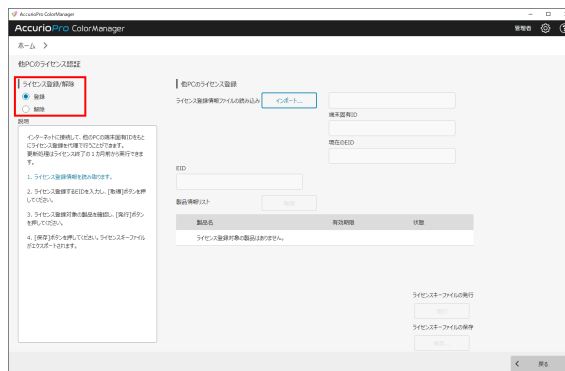
- 2 [アカウント選択] で [管理者] を選択します。



- 3  をクリックし、[ライセンス認証] の [他の PC のソフトウェア] を選択します。
[他 PC のライセンス認証] 画面が表示されます。



- 4 [ライセンス登録 / 解除] で、[登録] を選択します。



- 5 [インポート ...] をクリックし、ライセンス登録情報ファイルを読み込みます。
 ✓ ライセンス登録情報ファイルとは、2-7 ページの手順 3 で保存したファイルです。

- 6 [EID] にライセンス登録する EID を入力し、[取得] をクリックします。
 [製品情報リスト] にライセンス名が表示されます。

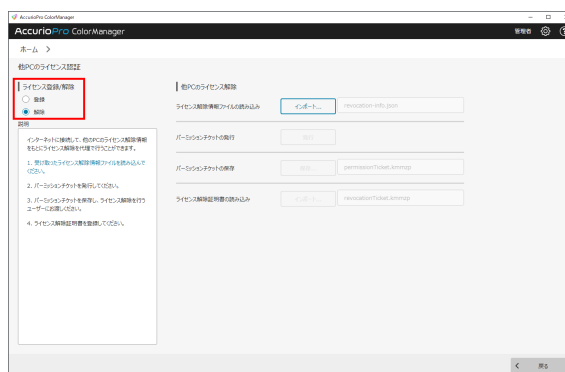
- 7 [ライセンスキーファイルの発行] で [発行] をクリックします。

- 8 [保存 ...] をクリックします。

手順（他のコンピューターのライセンスを無効にする）

- 1 2-9 ページの手順 1 ~ 手順 3 を参照し、[他 PC のライセンス認証] 画面を開きます。

- 2 [ライセンス登録 / 解除] で、[解除] を選択します。



-
- 3 [インポート...] をクリックし、受け取ったライセンス解除情報ファイルを読み込みます。
✓ ライセンス解除情報ファイルとは、2-8 ページの手順 3 で保存したファイルです。

 - 4 [発行] をクリックし、パーミッションチケットを発行します。

 - 5 [保存...] をクリックし、パーミッションチケットを保存します。
パーミッションチケットは、ライセンスを無効にするコンピューターの利用者に渡します。

 - 6 [インポート...] をクリックし、ライセンス解除証明書を読み込みます。

2.2.5 ライセンスを他のコンピューターに移行する

概要

AccurioPro ColorManager を他のコンピューターで使用する場合は、ライセンスを移行する必要があります。

移行元のコンピューターでライセンス認証を無効にしてから、移行先のコンピューターでライセンスを有効にしてください。

手順

- 1 移行元のコンピューターでライセンス認証を無効にします。
✓ 手順について詳しくは、2-6 ページ（オンライン）または 2-8 ページ（オフライン）をごらんください。

- 2 2-2 ページの手順を参照し、移行先のコンピューターに AccurioPro ColorManager をインストールします。

- 3 移行先のコンピューターで AccurioPro ColorManager のライセンス認証を有効にします。
✓ 手順について詳しくは、2-5 ページ（オンライン）または 2-7 ページ（オフライン）をごらんください。

2.3 AccurioPro ColorManager のアンインストール

概要

AccurioPro ColorManager をアンインストールします。

手順

- 1 ライセンス認証を無効にします。
 - ✓ 手順について詳しくは、2-6 ページ（オンライン）または 2-8 ページ（オフライン）をごらんください。

- 2 [コントロールパネル] - [プログラムと機能] をクリックします。

- 3 [AccurioPro ColorManager] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
 - ✓ 確認のダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。

- 4 [ユーザーアカウント制御] に関する画面が表示されるときは、管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[はい] をクリックします。

AccurioPro ColorManager がアンインストールされます。

 - ✓ アンインストール後は、コンピューターを再起動してください。

3

使いかた

3 使いかた

3.1 画面の説明

ホーム画面



番号	項目	説明
1	[アカウント選択] (1-4 ページ)	アカウントを [一般] または [管理者] に切替えます。
2	 <ul style="list-style-type: none"> [アプリケーション設定 ...] [ライセンス認証]* [バージョン情報 ...] 	<p>[アプリケーション設定 ...] 言語表示と用紙サイズの表示単位を切替えます。</p> <p>[ライセンス認証]* ライセンス認証に関する設定をします。詳しくは、2-4 ページをごらんください。</p> <p>[バージョン情報 ...] アプリケーションのバージョン情報が表示されます。</p>
3		ユーザズガイドのダウンロードページにアクセスします。
4	[管理] * 	プリンターの登録や色管理に関する設定をします。
5	[プリンターリスト] (3-7 ページ)	<ul style="list-style-type: none"> [プリンター名] 登録したプリンター名が表示されます。 [プリンター画像] プリンターのイメージイラストが表示されます。 [接続状態] プリンターと AccurioPro ColorManager の接続状態が表示されます。 [IP アドレス] プリンターとコントローラーの IP アドレスが表示されます。
6		

番号	項目	説明
6	[ツール選択]	[ツールメニュー] / [ワークフローメニュー] 画面が表示されます。詳しくは、3-28 ページをご覧ください。

* : [アカウント選択] で [管理者] を選択した場合に表示されます。

3.2 作業フロー

さまざまな作業フロー

状況に応じて必要な作業フローを行ってください。

プリンターでの操作について詳しくは、プリンターのユーザーズガイドをごらんください。

- AccurioPro ColorManager を初めて使用するとき
 1. AccurioPro ColorManager を起動する
 2. ライセンスを登録する (2-4 ページ)
 3. プリンターを登録する (3-7 ページ)
 4. [ターゲットコンフィグレーション] を登録する (3-19 ページ)
 5. [色管理プリセット] を設定する (3-23 ページ)
 6. 必要なカラーマネジメント操作を行う

- 色管理を行うとき
 1. [ターゲットコンフィグレーション] を確認する (3-19 ページ)
 2. [色管理プリセット] の作成または確認をする (3-23 ページ)
 3. [色検証] をする (3-29 ページ)



参考

- 装着しているオプションやイメージコントローラーによって、操作が異なります。
- インテリジェントクオリティオプティマイザー非装着時、AccurioPro ColorManager の [一括色手動調整] では、[濃度バランス調整] や [最高濃度調整]、[用紙別カラーセンサー調整] を、1つのフローとして設定し、実行できます。

日常のフロー

インテリジェントクオリティオプティマイザーなし、RU オプションなし	AccurioPro ColorManager が必須	コントローラーキャリブレーション (3-60 ページ) <ul style="list-style-type: none"> ■ イメージコントローラー IC-6XX の場合：AccurioPro ColorManager で行う ■ イメージコントローラー IC-3XX の場合：イメージコントローラーのキャリブレーション機能を使用する*
インテリジェントクオリティオプティマイザーなし、RU オプションあり	AccurioPro ColorManager 利用可	プリンターまたは AccurioPro ColorManager で操作できます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ [出力紙濃度手動調整] (プリンターのタッチパネルで行う) ■ [一括色調整] ([一括色手動調整]) (AccurioPro ColorManager で行う)
インテリジェントクオリティオプティマイザーあり、RU オプションあり	AccurioPro ColorManager 利用可	[一括色自動調整] (プリンターのタッチパネルまたは AccurioPro ColorManager で行う)

* : EFI 社製のイメージコントローラー装着時は、Command WorkStation を使用します。AccurioPro ColorManager の操作は不要です。

高精細なフロー

日常のフローを行っている場合でも、週 1 回から月 1 回の頻度で高精細なフローを行うことをおすすめします。

インテリジェントクオリティオブティマイザーなし、RU オプションなし	AccurioPro ColorManager が必須	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ガンマ自動調整] (プリンターのタッチパネルで行う) 2. [最高濃度調整] (AccurioPro ColorManager で行う) (3-57 ページ) 3. コントローラーキャリブレーション (3-60 ページ) <ul style="list-style-type: none"> ■ イメージコントローラー IC-6XX の場合 : AccurioPro ColorManager で行う ■ イメージコントローラー IC-3XX の場合 : イメージコントローラーのキャリブレーション機能を使用する*
インテリジェントクオリティオブティマイザーなし、RU オプションあり	AccurioPro ColorManager は不要	<p>プリンターのタッチパネルから以下の手順で操作してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [ガンマ自動調整] を行う 2. [最高濃度自動調整 (RU)] を行う 3. [出力紙濃度手動調整] を行う
インテリジェントクオリティオブティマイザーあり、RU オプションあり	AccurioPro ColorManager 利用可	[一括色自動調整] (プリンターのタッチパネルまたは AccurioPro ColorManager で行う)

* : EFI 社製のイメージコントローラー装着時は、Command WorkStation を使用します。AccurioPro ColorManager の操作は不要です。

新しい用紙を使うとき

本フローを行う前に、最高濃度が正しく設定されていることを確認してください。

インテリジェントクオリティオブティマイザーなし、RU オプションなし	AccurioPro ColorManager が必須	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ガンマ自動調整] (プリンターのタッチパネルで行う) 2. [濃度バランス調整] (3-51 ページ) *¹ (AccurioPro ColorManager で行う) 3. コントローラーキャリブレーション (3-60 ページ) <ul style="list-style-type: none"> ■ イメージコントローラー IC-6XX の場合 : AccurioPro ColorManager で行う ■ イメージコントローラー IC-3XX の場合 : イメージコントローラーのキャリブレーション機能を使用する*² 4. カラーバランス調整 ([Exact Color キャリブレーション] または [G7 キャリブレーション]) (3-63 ページまたは 3-65 ページ) *² (AccurioPro ColorManager で行う)
------------------------------------	-----------------------------	--

インテリジェントクオリティオブティマイザーなし、RU オプションあり	AccurioPro ColorManager が必須	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ガンマ自動調整] (プリンターのタッチパネルで行う) 2. [濃度バランス調整] (3-51 ページ) *¹ (AccurioPro ColorManager で行う) 3. [出力紙濃度調整] (プリンターのタッチパネルで行う) 4. カラーバランス調整 ([Exact Color キャリブレーション] または [G7 キャリブレーション]) (3-63 ページまたは 3-65 ページ) *² (AccurioPro ColorManager で行う)
インテリジェントクオリティオブティマイザーあり、RU オプションあり	AccurioPro ColorManager 利用可	[一括色自動調整] (プリンターのタッチパネルまたは AccurioPro ColorManager で行う)

*1：スキャナー装着時は、プリンターで [濃度バランス自動調整] を行うため AccurioPro ColorManager の操作は不要です。

*2：EFI 社製のイメージコントローラー装着時は、Command WorkStation を使用します。AccurioPro ColorManager の操作は不要です。

スクリーンを変更したとき

本フローを行う前に、最高濃度が正しく設定されていることを確認してください。

インテリジェントクオリティオブティマイザーなし、RU オプションなし	AccurioPro ColorManager が必須	<ol style="list-style-type: none"> 1. スクリーンを設定する 2. [ガンマ自動調整] (プリンターのタッチパネルで行う) 3. [濃度バランス調整] (3-51 ページ) *¹ (AccurioPro ColorManager で行う)
インテリジェントクオリティオブティマイザーなし、RU オプションあり	AccurioPro ColorManager が必須	<ol style="list-style-type: none"> 4. コントローラーキャリブレーション (3-60 ページ) <ul style="list-style-type: none"> ■ イメージコントローラー IC-6XX の場合：AccurioPro ColorManager で行う ■ イメージコントローラー IC-3XX の場合：イメージコントローラーのキャリブレーション機能を使用する *² 5. カラーバランス調整 ([Exact Color キャリブレーション] または [G7 キャリブレーション]) (3-63 ページまたは 3-65 ページ) *² (AccurioPro ColorManager で行う)
インテリジェントクオリティオブティマイザーあり、RU オプションあり	AccurioPro ColorManager 利用可	[一括色自動調整] (プリンターのタッチパネルまたは AccurioPro ColorManager で行う)

*1：スキャナー装着時は、プリンターで [濃度バランス自動調整] を行うため AccurioPro ColorManager の操作は不要です。

*2：EFI 社製のイメージコントローラー装着時は、Command WorkStation を使用します。AccurioPro ColorManager の操作は不要です。

3.3 [プリンターリスト]

3.3.1 プリンターを設定する

概要

AccurioPro ColorManager でカラーマネジメントを行うには、事前にプリンターを登録してください。登録したプリンターは、ホーム画面の [プリンターリスト] に一覧で表示されます。

操作手順について詳しくは、以下をごらんください。

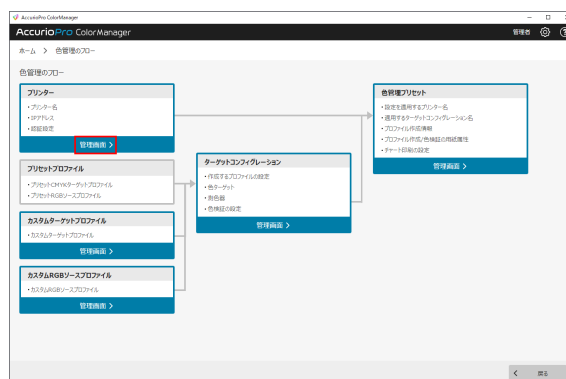
- プリンターを新規登録する (3-7 ページ)
- 登録したプリンターの情報を編集する (3-11 ページ)
- プリンターを削除する (3-12 ページ)

手順 (プリンターを新規登録する)

- 1 [アカウント選択] で [管理者] を選択し、[管理] をクリックします。
[色管理のフロー] 画面が表示されます。

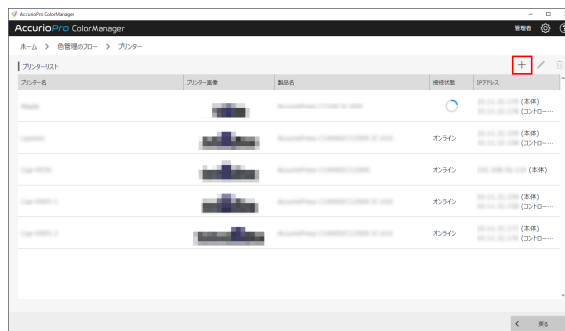


- 2 [プリンター] の [管理画面] をクリックします。



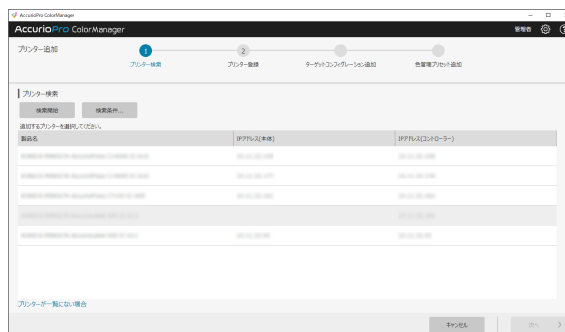
3 **+**をクリックします。

起動しているプリンターが自動で検索され、検索結果が一覧で表示されます。



4 登録するプリンターを選択します。

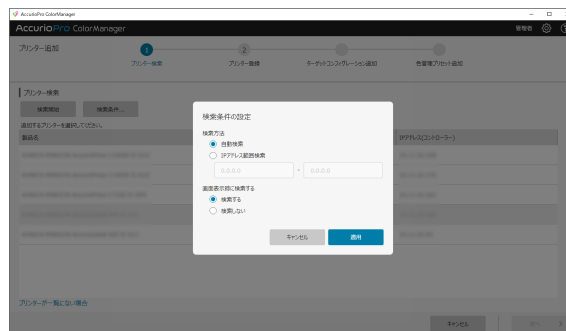
手順 7 へ進んでください。



設定項目	説明
[検索開始] *	クリックすると、起動しているプリンターを自動で検索します。
[検索条件 ...]	プリンターの検索条件を手動で設定します。手順 5 へ進んでください。
[プリンターが一覧にない場合]	自動検索でプリンターの検索ができなかった場合だけ、手動でプリンターの情報を設定します。手順 9 へ進んでください。

* : 登録するプリンターの [NIC 設定] - [SNMP 設定] が [使用する] に設定されていることを確認してください。[使用しない] に設定されている場合は、検索しても検索結果に表示されません。

- 5 手順 4 で [検索条件 ...] を選択した場合は、以下の項目を入力し、[適用] をクリックします。

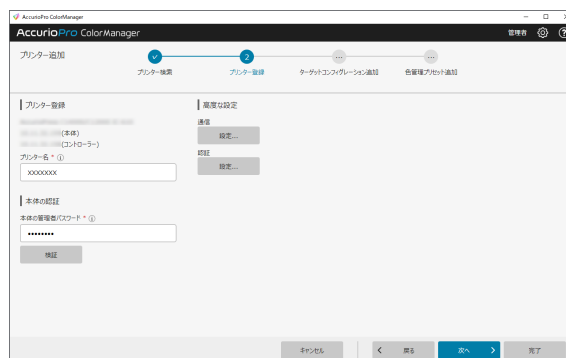


設定項目		説明
[検索方法]	[自動検索]	起動しているプリンターを自動で検索する設定をします。
	[IP アドレス範囲検索]	プリンターの IP アドレスの検索範囲を設定します。
[画面表示時に検索する]	[検索する]	[プリンター検索] 画面 (手順 4 の画面) を表示する際に、自動でプリンターを検索するかどうかを設定します。
	[検索しない]	

- 6 [検索開始] をクリックします。
検索結果が表示されます。
登録するプリンターを選択します。

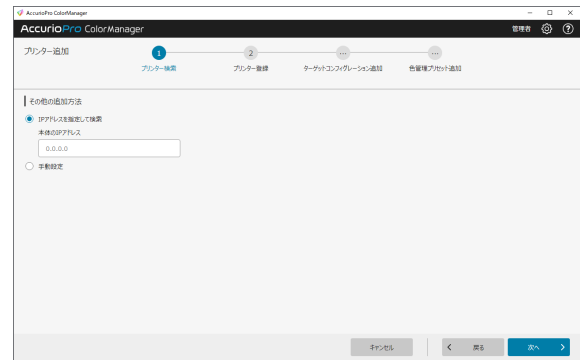
- 7 [次へ] をクリックします。

- 8 [プリンター名] と [本体の管理者パスワード] を入力します。
- ✓ [本体の管理者パスワード] を入力後は [検証] をクリックし、パスワードがプリンターと一致しているかどうかを確認してください。
 - ✓ [本体の管理者パスワード] は、プリンターで設定した管理者パスワードを入力します。管理者パスワードが一致しないと、アプリケーション上でプリンターの色調整が行えません。



- 9 手順 4 で [プリンターが一覧にない場合] を選択した場合は、[IP アドレスを指定して検索] または [手動設定] を選択し、以下の項目を入力します。

✓ 画面の指示に従って入力してください。



設定項目		説明
[IP アドレスを指定して検索] 選択時	[本体の IP アドレス]	プリンターの IP アドレスを入力します。
	[コントローラー IP アドレス]	イメージコントローラーの IP アドレスを入力します。
	[プリンター名]	プリンター名を任意で入力します。
	[本体の管理者パスワード] *1*2	プリンターで設定した管理者パスワードを入力します。半角 8 ～ 64 文字まで入力できます。
[手動設定] 選択時	[製品名]	メニューリストから登録するプリンターの製品名を選択します。
	[プリンター名]	プリンター名を任意で入力します。
	[IP アドレス (本体)]	プリンターの IP アドレスを入力します。
	[IP アドレス (コントローラー)]	イメージコントローラーの IP アドレスを入力します。
	[プリンター名]	プリンター名を任意で入力します。
	[本体の管理者パスワード] *1*2	プリンターで設定した管理者パスワードを入力します。半角 8 ～ 64 文字まで入力できます。

*1：[本体の管理者パスワード] を入力後は [検証] をクリックし、パスワードがプリンターと一致しているかどうかを確認してください。

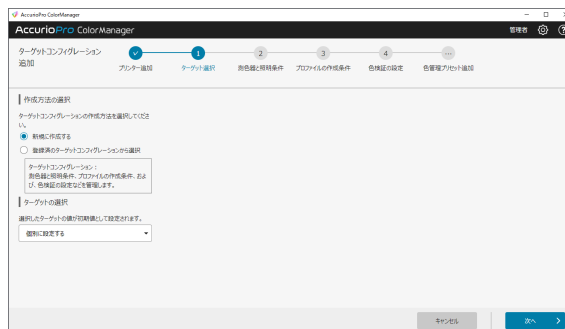
*2：プリンターで設定した管理者パスワードを入力してください。管理者パスワードが一致しないと、アプリケーション上でプリンターの色調整が行えません。

- 10 続けてターゲットコンフィグレーションの登録を行う場合は [次へ] をクリックし、手順 11 へ進んでください。

✓ [完了] をクリックすると、設定を終了してホーム画面に移動します。[プリンターリスト] に登録したプリンターが表示されます。

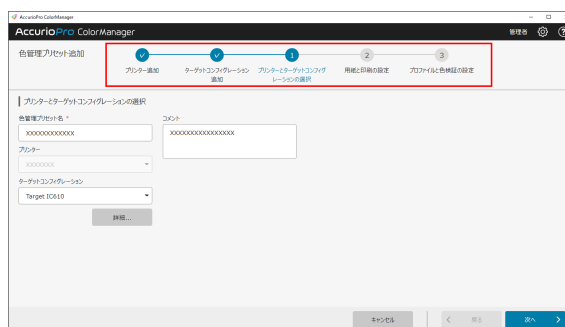
11 [ターゲットコンフィグレーション] を登録します。[作成方法の選択] でターゲットコンフィグレーションの作成方法を選択します。

- ✓ [新規に作成する] : 手順について詳しくは、3-19 ページをごらんください。
- ✓ [登録済のターゲットコンフィグレーションから選択] : [次へ] をクリックし、手順 12 に進みます。

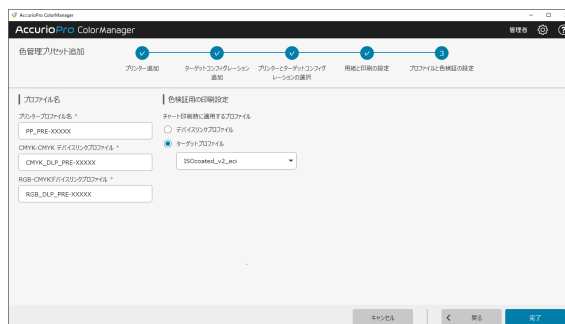


12 [色管理プリセット] を設定します。画面上部に表示されるフローを確認し、その指示に従って操作してください。

- ✓ [色管理プリセット] について詳しくは、3-23 ページをごらんください。



13 [完了] をクリックします。



14 ホーム画面の [プリンターリスト] に、登録したプリンターが表示されます。

- ✓ 登録に失敗した場合は、ポップアップでエラーが表示されます。


参考

- AccurioPro ColorManager がサポートするプリンターについて詳しくは、1-4 ページをごらんください。

手順（登録したプリンターの情報を編集する）

- ➔ 登録済みのプリンターの IP アドレスやプリンター名を編集できます。

- 1 3-7 ページの手順 1 ~ 手順 2 を参照し、[プリンターリスト] 画面を開きます。

- 2 登録内容を変更するプリンターを選択し、 をクリックします。

- 3 変更したい項目の登録内容を設定します。


- ✓ [高度な設定] について詳しくは、3-12 ページおよび 3-14 ページをごらんください。



- 4 [登録] をクリックします。
プリンターの登録内容が更新されます。

手順（プリンターを削除する）

- 1 3-7 ページの手順 1 ~ 手順 2 を参照し、[プリンターリスト] 画面を開きます。

- 2 削除するプリンターを選択し、 をクリックします。

- 3 選択したプリンターが削除されます。

3.3.2 [通信設定] 画面

プリンターやイメージコントローラーの通信設定をします。通常、変更する必要はありません。

プリンターに接続しているイメージコントローラーによって、画面表示が異なります。

通信設定

製品名 :

本体の設定	コントローラーの設定
<input type="checkbox"/> 本体制御 SSL使用	<input type="checkbox"/> JSP SSL使用
	JSPポート番号
	<input type="text" value="30081"/>
	JSPポート番号(SSL)
	<input type="text" value="30082"/>
	RAW印刷ポート番号
	<input type="text" value="9100"/>

3.3.3 [認証設定] 画面

プリンターの認証設定をします。詳しくは、プリンターのユーザーズガイドをごらんください。
プリンターに接続しているイメージコントローラーによって、画面表示が異なります。

認証設定

製品名 : [製品名をここに入力してください]

コントローラーの設定

ユーザー認証

オフ

パブリックユーザー

オフ

部門管理

オフ

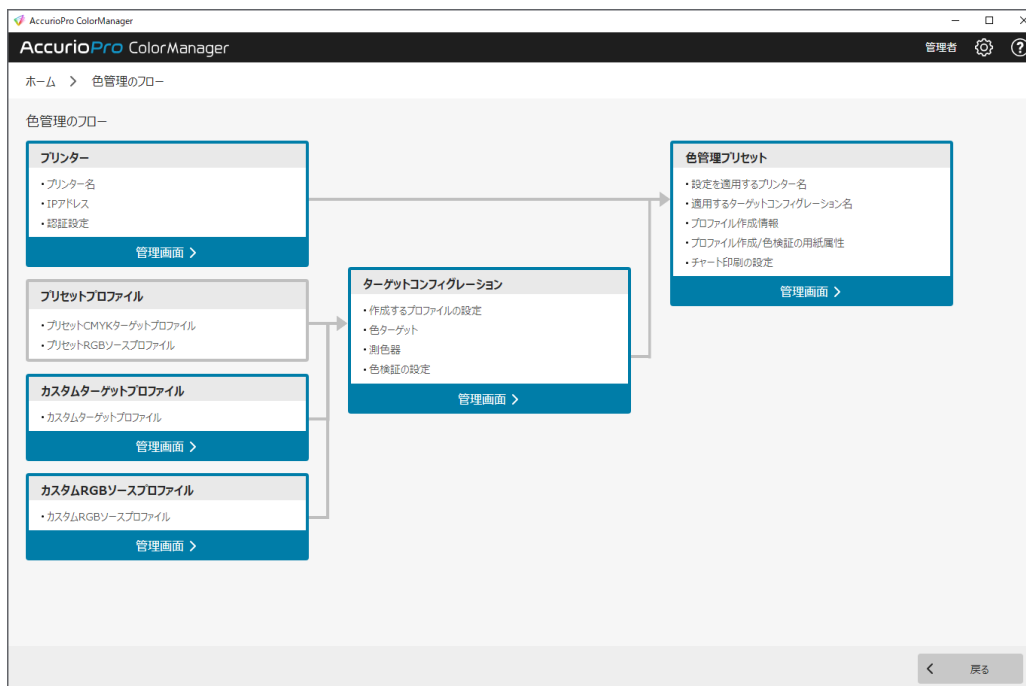
キャンセル OK

3.4 [管理]

3.4.1 [色管理のフロー]

[色管理のフロー] 画面では、プリンターの設定やカラーマネジメント機能の操作に必要な色管理の設定がフローで表示されます。設定の変更が必要な場合は、この画面から項目を選択して操作することができます。

各項目の[管理画面]をクリックすると、それぞれの設定画面が表示されます。




項目	説明
[プリンター]	カラーマネジメントを行うプリンターの登録や編集をします。 登録の手順は、3-7 ページをごらんください。
[プリセットプロファイル]	AccurioPro ColorManager 用にプリセットされているプロファイルです。
[カスタムターゲットプロファイル]	[カスタムターゲットプロファイル] の登録や編集をします。 詳しくは、3-16 ページをごらんください。
[カスタム RGB ソースプロファイル]	[カスタム RGB ソースプロファイル] の登録や編集をします。 詳しくは、3-17 ページをごらんください。
[ターゲットコンフィギュレーション]	[ターゲットコンフィギュレーション] の登録や編集をします。 詳しくは、3-19 ページをごらんください。
[色管理プリセット]	[色管理プリセット] の登録や編集をします。 詳しくは、3-23 ページをごらんください。

3.4.2 [カスタムターゲットプロファイル]


概要

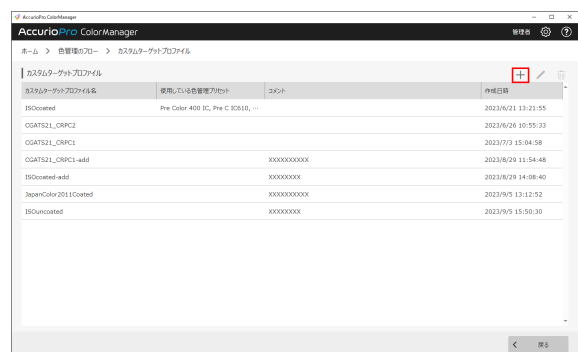
登録済みの [カスタムターゲットプロファイル] が一覧で表示されます。

[カスタムターゲットプロファイル] の新規登録や編集、ダウンロードができます。

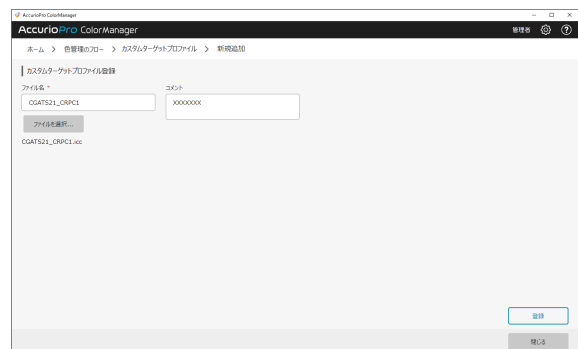
登録済みの [カスタムターゲットプロファイル] を選択して  をクリックすると削除できます。

手順 ([カスタムターゲットプロファイル] を新規登録する)

1  をクリックします。



2 [ファイルを選択...] をクリックし、登録する [カスタムターゲットプロファイル] を選択します。




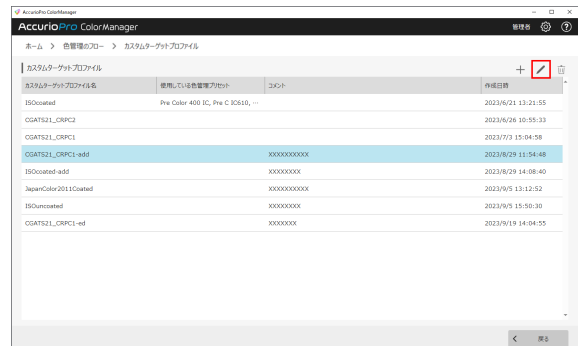
3 [ファイル名] と [コメント] を任意で入力します。

4 [登録] をクリックします。

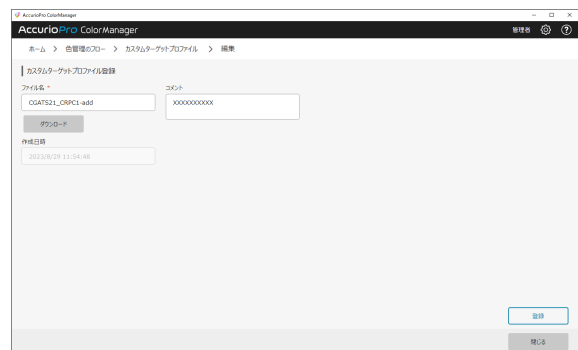
手順（[カスタムターゲットプロファイル] を編集する）

→ 登録済みの [カスタムターゲットプロファイル] のファイル名やコメントを編集できます。

- 1 編集する [カスタムターゲットプロファイル] を選択し、 をクリックします。



- 2 [ファイル名] または [コメント] を編集します。




- 3 [登録] をクリックします。
[ダウンロード] をクリックすると、コンピューターに [カスタムターゲットプロファイル] が保存できます。

3.4.3 [カスタム RGB ソースプロファイル]


概要

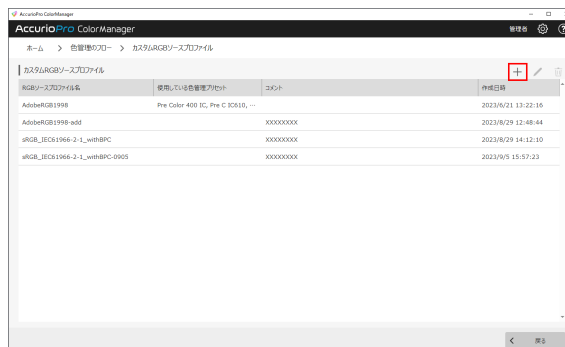
登録済みの [カスタム RGB ソースプロファイル] が一覧で表示されます。

[カスタム RGB ソースプロファイル] の新規登録や編集、ダウンロードができます。

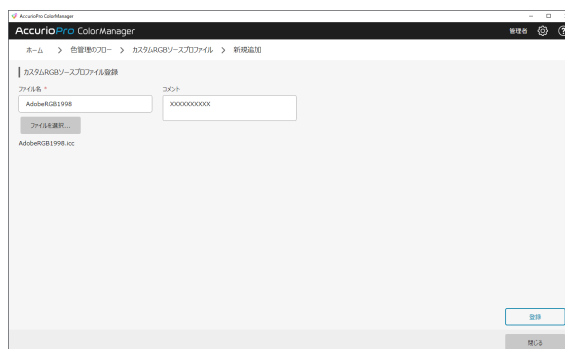
登録済みの [カスタム RGB ソースプロファイル] を選択して  をクリックすると削除できます。

手順（[カスタム RGB ソースプロファイル] を新規登録する）

1  をクリックします。



2 [ファイルを選択 ...] をクリックし、登録する [カスタム RGB ソースプロファイル] を選択します。




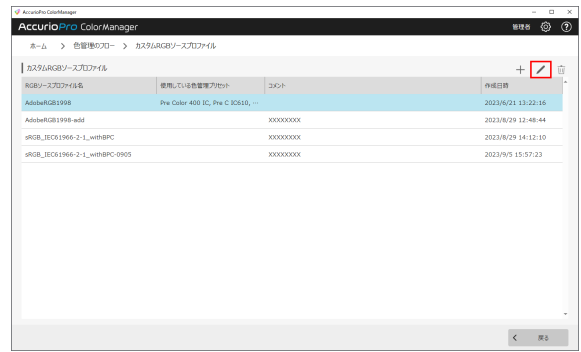
3 [ファイル名] と [コメント] を任意で入力します。

4 [登録] をクリックします。

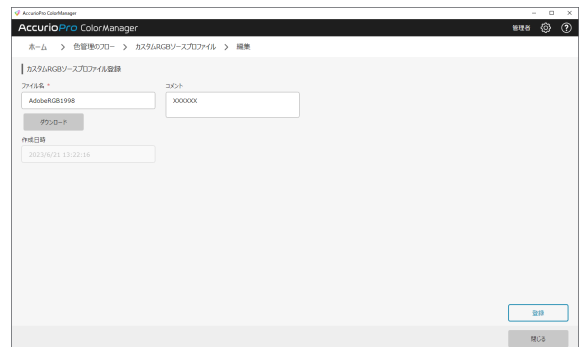
手順（[カスタム RGB ソースプロファイル] を編集する）

➔ 登録済みの [カスタム RGB ソースプロファイル] のファイル名やコメントを編集できます。

- 1 編集する [カスタム RGB ソースプロファイル] を選択し、 をクリックします。



- 2 [ファイル名] または [コメント] を編集します。



- 3 [登録] をクリックします。


- ✓ [ダウンロード] をクリックすると、コンピューターに [カスタム RGB ソースプロファイル] が保存できます。

3.4.4 [ターゲットコンフィグレーション]

概要

登録済みの [ターゲットコンフィグレーション] 設定が一覧で表示されます。

[ターゲットコンフィグレーション] の新規登録や編集、ダウンロードができます。

登録済みの [ターゲットコンフィグレーション] を選択して  をクリックすると削除できます。

[ターゲットコンフィグレーション] とは

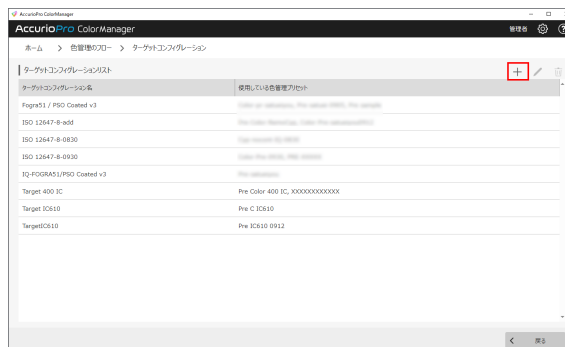
決まった用紙や設定で定期的に調整を実施する場合に、デバイスリンクプロファイルの作成条件や色検証の条件を [ターゲットコンフィグレーション] として登録できます。

登録済みの [ターゲットコンフィグレーション] を適用することで、調整を行うときに色調整に関する項目を最初から設定する必要がなくなるため、色調整の間違いを避けることができます。

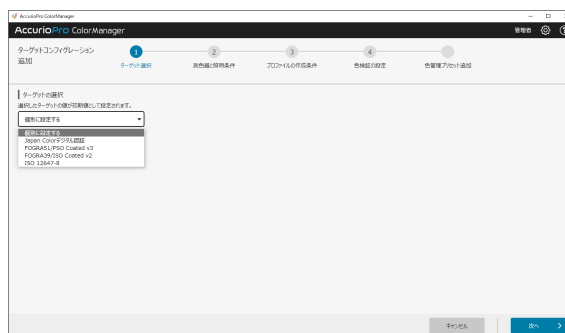
[ターゲットコンフィグレーション] は、プリンタープロファイルやデバイスリンクプロファイルの作成、色検証に使用するため事前に登録しておくことをおすすめします。

手順（[ターゲットコンフィグレーション] を新規登録する）

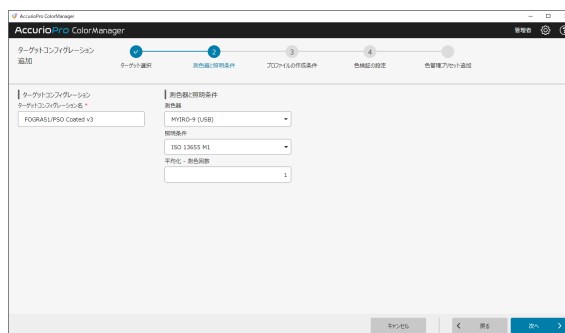
- 1 **+** をクリックします。
設定画面が表示されます。



- 2 [ターゲットの選択] でターゲットコンフィグレーションの初期値を選択し、[次へ] をクリックします。

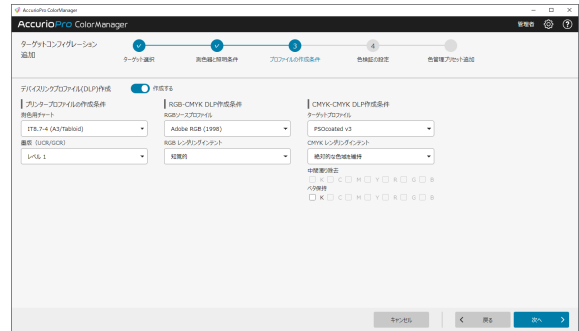


- 3 以下の項目を設定し、[次へ] をクリックします。



設定項目	説明
[ターゲットコンフィグレーション名]	ターゲットコンフィグレーション名を入力します。
[測色器]	使用する測色器をメニューリストから選択します。
[照明条件]	測色時の照明条件をメニューリストから選択します。
[平均化 - 測色回数]	測色回数を入力します。

4 以下の項目を設定し、[次へ] をクリックします。

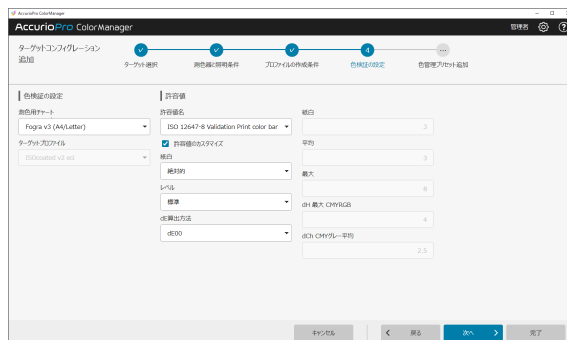


設定項目		説明
[デバイスリンクプロファイル (DLP) 作成]	[作成しない]	デバイスリンクプロファイルを作成しません。
	[作成する]	デバイスリンクプロファイルを作成します。
[プリンタープロファイルの作成条件]	[測色用チャート]	プロファイル作成に使用するチャートをメニューリストから選択します。
	[墨版 (UCR/GCR)] *	墨版のレベルをメニューリストから設定します。 [レベル 1] ~ [レベル 5] まで選択できます。 ■ [レベル 1] : 墨版の生成量が最も小さくなります。 ■ [レベル 5] : 墨版の生成量が最も大きくなります。
[RGB-CMYK DLP 作成条件]	[RGB ソースプロファイル]	RGB ソースプロファイルをメニューリストから選択します。 [カスタム] : [カスタム RGB ソースプロファイル] に登録されている RGB ソースプロファイルが表示されます。 [プリセット] : イメージコントローラーに登録されている RGB ソースプロファイルが表示されます。
	[RGB レンダリングインテント]	レンダリングインテントを選択します。 [彩度] : グラフや図を含むグラフィック系の印刷物に有効です。 [知覚的] : 写真などの階調性 (濃淡) のある印刷物に有効です。
[CMYK-CMYK DLP 作成条件]	[ターゲットプロファイル]	ターゲットプロファイルをメニューリストから選択します。 [カスタム] : [カスタムターゲットプロファイル] に登録されているターゲットプロファイルが表示されます。 [プリセット] : イメージコントローラーに登録されているターゲットプロファイルが表示されます。
	[CMYK レンダリングインテント]	レンダリングインテントをメニューリストから選択します。 [相対的な色域を維持] : 一般的な CMYK データの印刷に使用します。 [絶対的な色域を維持] : 紙白を含め、すべての色を可能な限り正確に再現します。
	[中間濁り除去]	色の濁りをなくすため、単色を維持したい色のチェックボックスにチェックを入れます。[CMYK レンダリングインテント] で [絶対的な色域を維持] を選択した場合は、設定できません。
	[ベタ保持]	ベタ塗りを保持したい色のチェックボックスにチェックを入れます。[CMYK レンダリングインテント] で [絶対的な色域を維持] を選択した場合は、K 色の設定だけできます。

* :

- UCR (Under Color Removal) は、シャドー部分の CMY を墨版 (K) に置換えます。シャドー部分でトナーの使い過ぎを防止します。
- GCR (Gray Component Replacement) は、すべての階調部分の CMY を墨版 (K) に置換えます。ハイライト部分でグレーの品質を安定させます。

5 [色検証の設定] で以下の項目を設定します。




設定項目		説明
[色検証の設定]	[測色用チャート]	色検証に使用するチャートをメニューリストから選択します。
[許容値]	[許容値名]	基準とする規格をメニューリストから選択します。 選択した規格の各規格値が画面右側に表示されます。
	[許容値のカスタマイズ]	許容値をカスタマイズする場合は、チェックボックスにチェックを入れます。
	[紙白] / [レベル] / [dE 算出方法]	[許容値のカスタマイズ] でチェックボックスにチェックを入れた場合に手動で許容値を設定します。 設定できる項目は規格によって異なります。

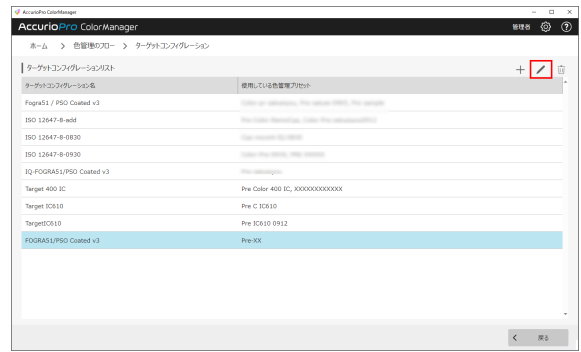
6 続けて、[色管理プリセット追加] を行う場合は [次へ] をクリックし、3-24 ページの手順 2 へ進みます。

- ✓ [完了] をクリックすると、設定を終了して [ターゲットコンフィグレーション] 画面に移動します。

手順 ([ターゲットコンフィグレーション] を編集する)

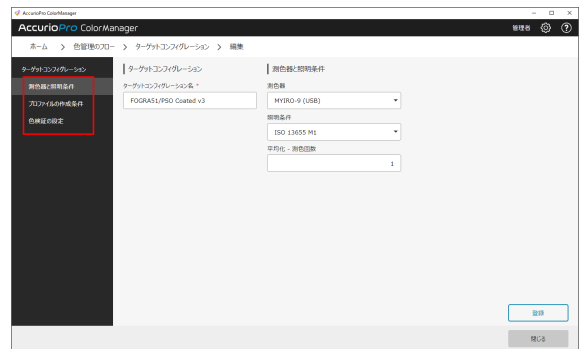
- ➔ 登録済みの [ターゲットコンフィグレーション] の登録内容を編集できます。

- 1 登録内容を編集する [ターゲットコンフィグレーション] を選択し、 をクリックします。



- 2 [ターゲットコンフィグレーション] の各項目を設定します。

- ✓ 画面左の [測色器と照明条件]、[プロファイルの作成条件] または [色検証の設定] タブをクリックすると、設定画面を切替えられます。
- ✓ 各画面の設定項目について詳しくは、3-20 ページの手順 3 ~ 手順 5 をご覧ください。



- 3 [登録] をクリックします。

3.4.5 [色管理プリセット]

概要

登録済みの [色管理プリセット] が一覧で表示されます。

[色管理プリセット] の新規登録や編集、ダウンロードができます。

登録済みの [色管理プリセット] を選択して、 をクリックすると削除できます。


[色管理プリセット] とは

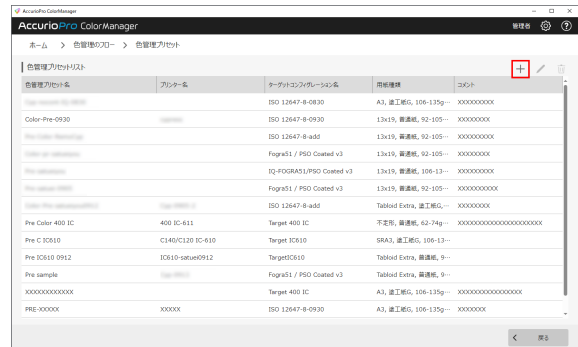
[色管理プリセット] は、用紙ごとに作成します。

作成する用紙の例：

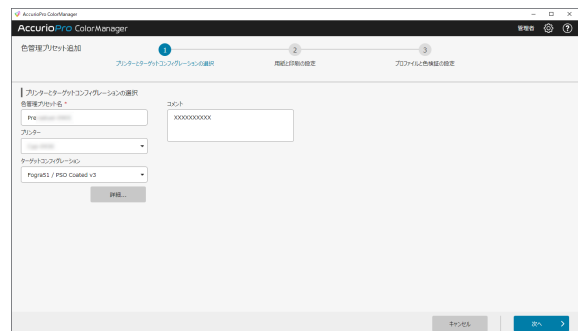
- コントローラーキャリブレーションを実施したい用紙
- 高度なキャリブレーションを実施したい用紙
- プロファイルを作りたい用紙
- 色検証を実施したい用紙

手順（[色管理プリセット] を新規登録する）

1  をクリックします。



2 以下の項目を設定し、[次へ] をクリックします。

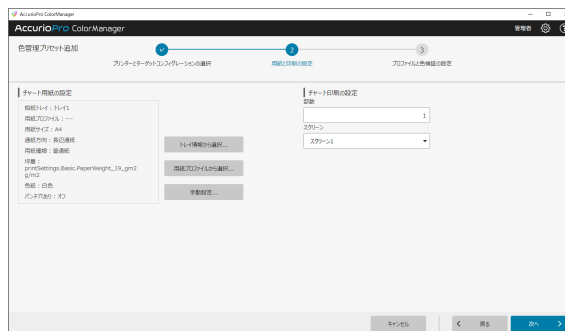


設定項目	説明
[色管理プリセット名]	[色管理プリセット名] を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ [色管理プリセット] は、新しい用紙を使用するたびに設定が必要です。[色管理プリセット名] は、「用紙種類の名前 + 坪量」などの用紙情報がわかるような名称で登録することをおすすめします。 例：POD グロスコート 128
[プリンター] *1	[色管理プリセット] を適用するプリンターをメニューリストから選択します。
[ターゲットコンフィグレーション] *1*2	適用するターゲットコンフィグレーションをメニューリストから選択します。 [詳細 ...]：選択したターゲットコンフィグレーションの詳細がダイアログで表示されます。
[コメント]	設定に関する情報を任意で入力します。

*1：プリンターの登録画面（3-7 ページの手順 12）からこの設定画面に遷移した場合は、変更できません。

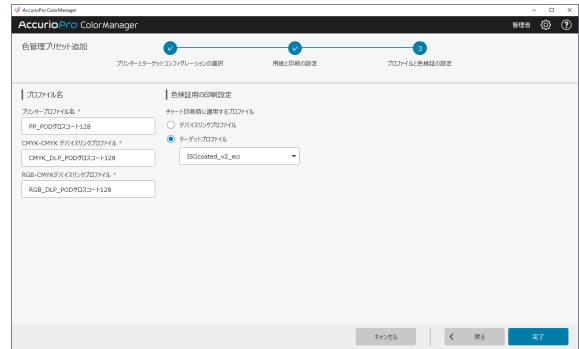
*2：[ターゲットコンフィグレーション] の登録画面（3-20 ページの手順 6）からこの設定画面に遷移した場合は、変更できません。

- 3 チャート出力時の用紙設定と印刷設定を行い、[次へ] をクリックします。



設定項目	説明
[トレイ情報から選択 ...]	クリックすると表示されるダイアログで、チャート出力に使用する給紙トレイを選択します。
[用紙プロファイルから選択 ...]	クリックすると表示されるダイアログで、チャート出力に使用する用紙プロファイルを選択します。
[手動設定 ...]	クリックすると表示されるダイアログで、チャート出力時の用紙設定を手動で行います。
[チャート印刷の設定]	チャートの出力設定を行います。 [部数]：出力する部数を入力します。 [スクリーン]：スクリーンタイプをメニューリストから選択します。

4 以下の項目を設定します。




設定項目		説明
[プロファイル名]	[プリンタープロファイル名]	作成する各プロファイル名を入力します。
	[CMYK-CMYK デバイスリンクプロファイル]	
	[RGB-CMYK デバイスリンクプロファイル]	
[色検証用の印刷設定]	[デバイスリンクプロファイル]	色検証チャート出力時の色変換を選択し、ラジオボタンをクリックします。
	[ターゲットプロファイル]	[ターゲットプロファイル] 選択時：プリンターに登録されているターゲットプロファイル名がメニューリストで表示されます。チャート出力で使用するターゲットプロファイルを選択します。

5 [完了] をクリックします。

手順（[色管理プリセット] を編集する）

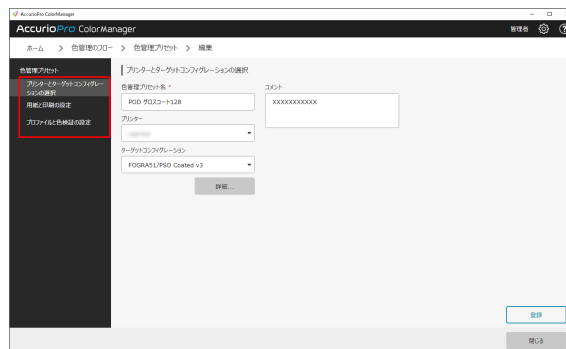
➔ 登録済みの [色管理プリセット] の登録内容を編集できます。

- 1 登録内容を編集する [色管理プリセット] を選択し、 をクリックします。



2 [色管理プリセット] の各項目を設定します。

- ✓ 画面左の [プリンターとターゲットコンフィギュレーションの選択]、[用紙と印刷の設定] または [プロファイルと色検証の設定] をクリックすると、設定画面を切替えられます。
- ✓ 各画面の設定項目について詳しくは、3-24 ページの手順 2 ~ 手順 4 をご覧ください。



3 [登録] をクリックします。

3.5 カラーマネジメント

3.5.1 [ツールメニュー] / [ワークフローメニュー]

概要

[ツールメニュー] / [ワークフローメニュー] は、カラーマネジメントに関する機能が一面面に集約されたポータル画面です。専門的な知識がなくても、少ない操作で色調整が簡単に行えます。

- [ツールメニュー]：キャリブレーションやカラーマッチングなどの色調整を、表示されるフローに沿って操作できます。ライセンスの種類によって、操作できる機能が異なります。
- [ワークフローメニュー]：カラーマネジメントに必要な基本設定を、自動化されたフローに沿って調整できます。

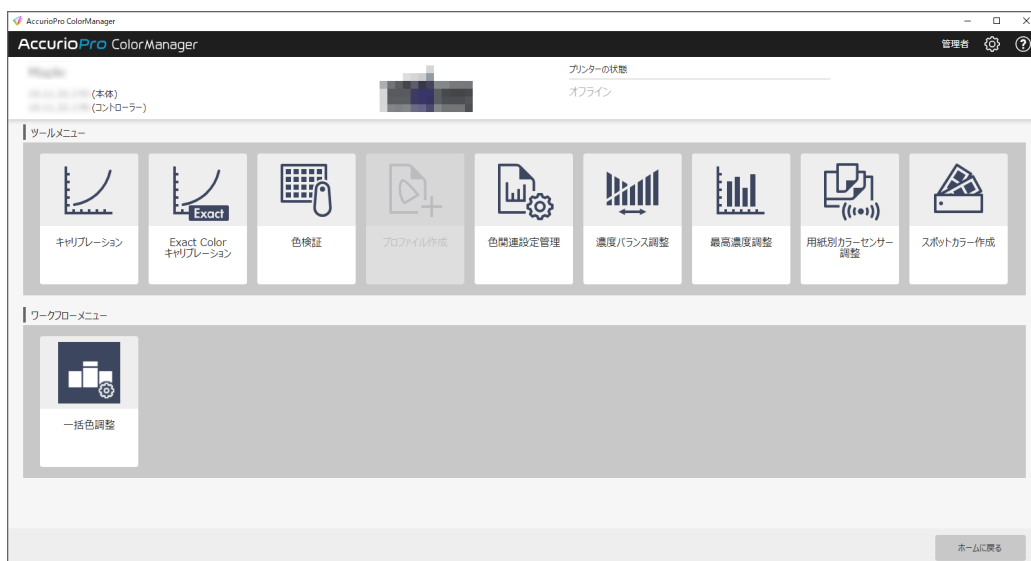
設定項目

[アカウント選択] で [管理者] を選択した場合は、すべての機能进行操作できます。[一般] を選択した場合は、一部の機能が表示されません。



参照

- [アカウント選択] について詳しくは、3-2 ページをごらんください。



画面に表示される項目は、機種や装着しているオプション、ライセンスによって異なります。

機能		説明
[ツールメニュー]	[色検証] (3-29 ページ)	出力したチャートを測定し、実際の出力結果（測定値）と設定した規格（目標値）とを比較して、現在の色再現性を評価します。
	[プロファイル作成] (3-32 ページ)	目的の色を再現するために必要な値を確認し、その結果をプロファイルとして作成および定義します。
	[色関連設定管理] * ¹ (3-36 ページ)	安定した色を再現するために必要な色管理をします。
	[スポットカラー作成] (3-46 ページ)	スポットカラーテーブルやスポットカラーの新規作成、登録または編集ができます。
	[濃度バランス調整] * ¹ (3-51 ページ)	濃度バランス調整値を作成し、その調整値を適用することで濃度ムラを補正します。
	[用紙別カラーセンサー調整] * ¹ (3-54 ページ)	出力紙濃度調整を実施する際に使用する用紙別カラーセンサー調整値を作成します。
	[最高濃度調整] * ¹ (3-57 ページ)	色域を一定に保つため、CMYK 各色の最高濃度を調整します。
	[キャリブレーション] (3-60 ページ)	チャート上の各色（CMYK）の濃度を測定して、中間調の補正データを作成します。
	[Exact Color キャリブレーション] (3-63 ページ)	混色（2色または3色を混ぜたときの色やグレーバランス）を調整します。
	[G7 キャリブレーション] (3-65 ページ) * ²	米国 Idealliance が定めた基準に則るように各単色（CMYK）カーブを調整し、グレーバランスを制御します。
[ワークフローメニュー]	[一括色調整]	この機能を使用するには、事前に [リモートパネル] の設定が必要です。 [一括色自動調整] または [一括色手動調整] について詳しくは、プリンターのユーザーズガイドをごらんください。

*¹：[アカウント選択] で [一般] を選択した場合は、グレーアウトして操作できません。

*²：プリンターで G7 を設定している場合に表示されます。プリンターは、デフォルトで Exact Color が設定されています。G7 キャリブレーションに切替える場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

3.5.2 [色検証]

概要

出力したチャートを測定し、実際の出力結果（測定値）と設定した規格（目標値）とを比較して、現在の色再現性を評価します。



参考

- [色検証] を行うには、事前に [ターゲットコンフィグレーション] と [色管理プリセット] を設定してください。
- 測色には、[ターゲットコンフィグレーション] で設定した測色器を使用してください。



参照

- [ターゲットコンフィグレーション] について詳しくは、3-19 ページをごらんください。

- [色管理プリセット] について詳しくは、3-23 ページをごらんください。

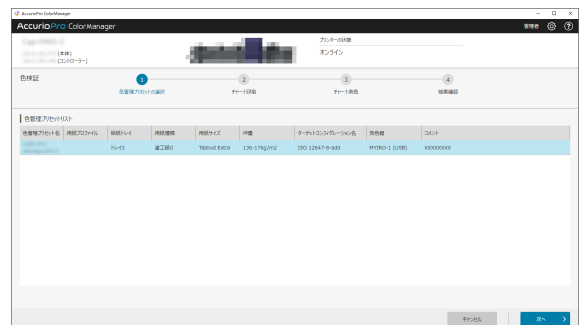
手順

→ ここでは、測色器を使用する手順を説明します。事前にコンピューターに測色器を接続してください。

- 1 [ツールメニュー] の [色検証] をクリックします。
設定画面が表示されます。

- 2 [色管理プリセットリスト] で [色検証] に使用する [色管理プリセット] を選択し、[次へ] をクリックします。

選択した [色管理プリセット] に設定されている測色器の接続確認が行われ、次の操作に進みます。



測色器の接続に失敗した場合

1. 接続失敗のダイアログが表示されたら、測色器がコンピューターに正しく接続されていることを確認し、[接続] をクリックします。
2. 再接続ができない場合は、一時的に他の測色器に変更することができます。[測色器] のメニューリストから接続可能な他の測色器を選択して [接続] をクリックします。測色器の接続が完了すると、ダイアログが閉じて元の画面に戻ります。

- 3 以下の項目を設定し、[次へ] をクリックします。



設定項目		説明
[印刷設定]	[部数]	チャートの出力部数を入力します。

設定項目		説明
[測色方法]	[チャートを印刷して測色] *1	チャートを出力して測定します。
	[印刷済みのチャートを測色] *2	出力済みのチャートを測定します。
	[測色済みのデータを読み込む]	測定済みの測色データを読み込みます。 1. 選択ダイアログで、測定済みのデータファイルを選択します。 2. 選択したデータをもとに色検証結果が計算されます。手順7へ進んでください。

*1 :

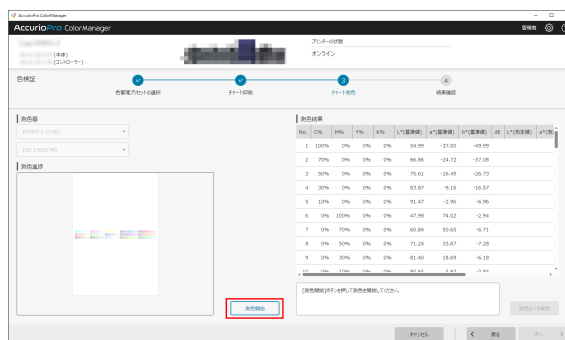
- [チャートを印刷して測色] を選択した場合、[次へ] をクリックしたときに確認ダイアログが表示されることがあります。確認ダイアログは、チャート出力に設定した用紙と、給紙トレイの用紙設定が一致しない場合に表示されます。用紙設定を変更するか、給紙トレイの用紙を入替えて、[OK] をクリックしてください。
- [設定変更] をクリックすると、使用する給紙トレイの用紙設定を変更できます。

*2 : インテリジェントクオリティオプティマイザ装着時は設定できません。

4 [測色開始] をクリックし、出力したチャートを測色します。

[測色進捗] に測色の進捗がイメージで表示されます。

- ✓ 測色器 i1 iO を接続している場合は、チャートの位置補正のため、3点入力をします。[測色開始] が [測色実行] に切替わったらクリックし、測色を開始します。
- ✓ [測色データ保存] をクリックすると、測色データが CGATS 形式で保存されます。

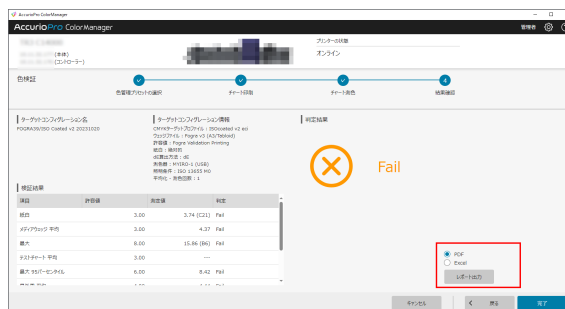


5 [次へ] をクリックします。

色検証の判定処理が完了したら、[結果確認] 画面が表示されます。

6 [検証結果] を確認します。

- ✓ [レポート出力] をクリックすると、検証結果を印刷します。出力形式は、[PDF] または [Excel] から選択できます。



7 [完了] をクリックします。

3.5.3 [プロファイル作成]

概要

印刷に使用する用紙に対してプリンターで再現できる色調を測定し、目的の色を再現するにはどのような CMYK 値で出力すればよいかを求めます。その結果をプロファイルとして定義して保存します。

用紙によって色の再現性が大きく変動しないように、必要に応じて用紙ごとにプロファイルを作成します。作成したプロファイルを使い分けることで、用紙ごとの変動や影響を最低限に抑え、より目的に近い色で出力できます。



参考

- [プロファイル作成] で [色管理プリセット] を使用する場合は、事前に [ターゲットコンフィグレーション] と [色管理プリセット] を設定してください。
- 測色には、[ターゲットコンフィグレーション] で設定した測色器を使用してください。



参照

- [ターゲットコンフィグレーション] については、3-19 ページをごらんください。
- [色管理プリセット] については、3-23 ページをごらんください。

手順

➔ ここでは、測色器を使用する手順を説明します。事前にコンピューターに測色器を接続してください。

1 [ツールメニュー] の [プロファイル作成] をクリックします。
設定画面が表示されます。

2 [色管理プリセットリスト] でプロファイル作成に使用する [色管理プリセット] を選択します。

- ✓ [次へ] をクリックすると、測色器への接続確認が行われ、設定画面が開きます。手順 6 へ進んでください。
- ✓ 測色器接続失敗のダイアログが表示されたら、3-29 ページの手順 2 を参照し、測色器を再接続してください。
- ✓ イメージコントローラー接続時：プロファイル登録数の上限（50 件）を超え

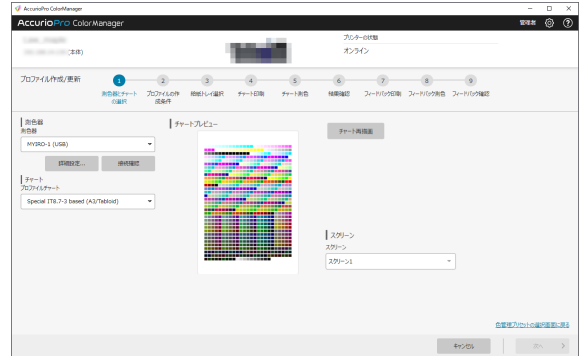


ている場合、確認のダイアログが表示されます。登録済みのプロファイルに上書きして作成を続ける場合は、[OK] をクリックします。手順 6 へ進んでください。

- ✓ [色管理プリセット] の設定項目を手動で設定してプロファイルを作成する場合は、[色管理プリセットを使用せず個別に設定する] をクリックします。手順 3 へ進んでください。

3 以下の項目を設定し [次へ] をクリックします。

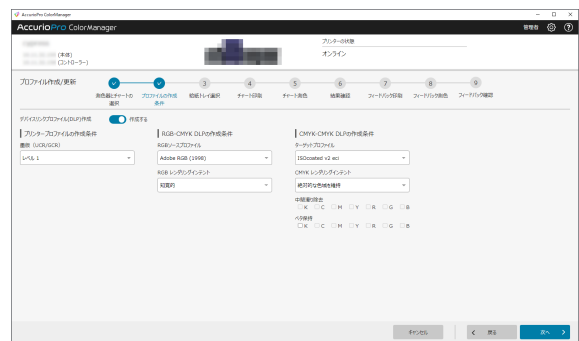
- ✓ この設定は、手順 2 で [色管理プリセットを使用せず個別に設定する] を選択した場合に行います。



設定項目	説明
[測色器]	測色器をメニューリストから選択します。選択後は、[接続確認] をクリックし、測色器が接続できているかどうかを確認してください。 [詳細設定 ...] で測色器の詳細を確認できます。
[チャート]	プロファイル作成に使用するチャートをメニューリストから選択します。
[チャート再描画]	クリックすると、チャートプレビューを再描画します。
[スクリーン]	チャート出力に使用するスクリーンタイプをメニューリストから選択します。
[色管理プリセットの選択画面に戻る]	[色管理プリセットリスト] 画面 (手順 2 の画面) へ移動します。

4 以下の項目を設定し、[次へ] をクリックします。

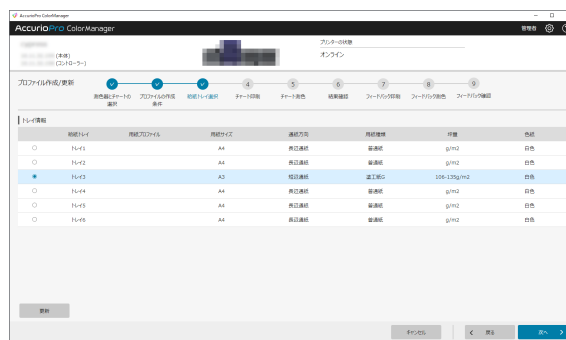
- ✓ この設定は、手順 2 で [色管理プリセットを使用せず個別に設定する] を選択した場合に行います。



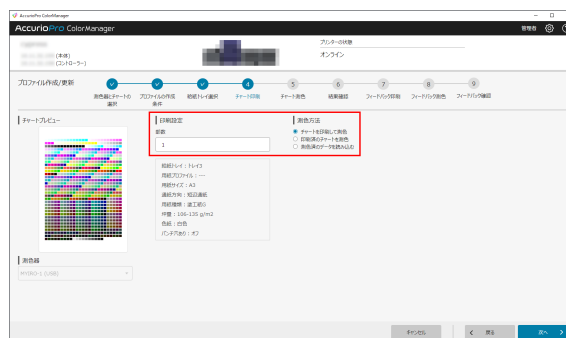
設定項目		説明
[デバイスリンク プロファイル (DLP) 作成]	[作成しない]	各項目の設定について詳しくは、3-20 ページの手順 4 をご覧ください。
	[作成する]	
[プリンタープロ ファイルの作成条 件]	[墨版 (UCR/GCR)]	
	[RGB ソースプ ロファイル]	
[RGB-CMYK DLP の作成条件]	[RGB レンダリ ングインテント]	
	[CMYK-CMYK DLP の作成条件]	
[ターゲットプロ ファイル]	[CMYK レンダリ ングインテント]	
	[中間濁り除去]	
	[ベタ保持]	

5 [給紙トレイ選択] でチャート出力に使用する給紙トレイを選択し、[次へ] をクリックします。

- ✓ この設定は、手順 2 で [色管理プリセットを使用せず個別に設定する] を選択した場合に行います。



6 以下の項目を設定し、[次へ] をクリックし、チャートを出力します。



設定項目		説明
[印刷設定]	[部数]	チャートの出力部数を入力します。

設定項目		説明
[測色方法]	[チャートを印刷して測色] *1	チャートを出力して測定します。 インテリジェントクオリティオプティマイザー装着時は、チャートを出力すると、自動でプロファイルが作成されます。手順 9 へ進んでください。
	[印刷済みのチャートを測色] *2	出力済みのチャートを測定します。手順 7 へ進んでください。
	[測色済みのデータを読み込む]	測定済みの測色データを読み込みます。 1. 選択ダイアログで、測定済みのデータファイルを選択します。 2. 選択したデータをもとに色検証結果が計算されます。手順 9 へ進んでください。

*1 :

- [チャートを印刷して測色] を選択した場合、[次へ] をクリックしたときに確認ダイアログが表示されることがあります。確認ダイアログは、チャート出力に設定した用紙と、給紙トレイの用紙設定が一致しない場合に表示されます。用紙設定を変更するか、給紙トレイの用紙を入替えて、[OK] をクリックしてください。
- [設定変更] をクリックすると、使用する給紙トレイの用紙設定を変更できます。

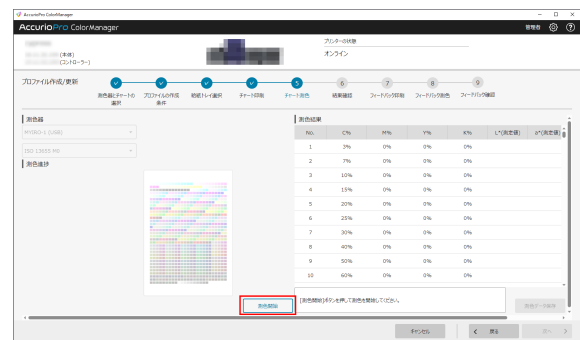
*2 : インテリジェントクオリティオプティマイザー装着時は設定できません。

7 [測色開始] をクリックし、出力したチャートを測色します。

[測色進捗] に測色の進捗がイメージで表示されます。

[測色結果] に測色結果が表示されます。

- ✓ 測色器 i1 iO を接続している場合は、チャートの位置補正のため、3 点入力をします。[測色開始] が [測色実行] に切替わったらクリックし、測色を開始します。

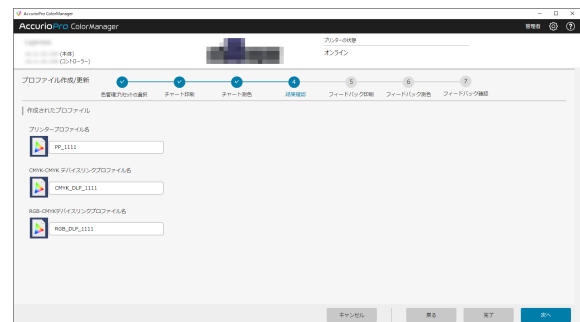


8 測色が完了したら [測色データ保存] をクリックします。

測色データが CGATS 形式で保存されます。

9 プロファイルの作成結果を確認します。

- ✓ プロファイル作成を終了する場合は、[完了] をクリックします。
- ✓ 続けて、[フィードバック印刷] を行う場合は、[次へ] をクリックします。手順 10 に進みます。



10 [印刷設定] と [測色方法] を設定し、[次へ] をクリックしてチャートを出力します。

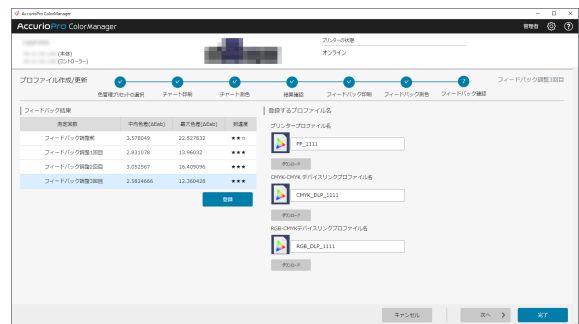
- ✓ 操作は手順 6 と同様です。

11 手順 10 で出力したチャートを測色し、[次へ] をクリックします。

- ✓ 操作は手順 7 と同様です。
- ✓ インテリジェントクオリティオブティマイザー装着時は、チャートを出力すると、自動で測色されます。

12 [フィードバック結果] を確認し、[登録] をクリックします。

- ✓ イメージコントローラー接続時：
[フィードバック結果] で選択した精度測定時に適用したプロファイルをイメージコントローラーに登録できます。
- ✓ イメージコントローラー非接続時：コンピュータ上の保存先を選択するダイアログが表示されます。作成したプロファイルを保存するフォルダを選択してください。
- ✓ 各プロファイルのファイル名を設定できます。
- ✓ [完了] をクリックすると、プロファイルの作成を完了します。



13 再度フィードバック印刷を行う場合は、[次へ] をクリックします。

- ✓ [フィードバック印刷] は、最大 8 回まで繰り返すことができます。目標の測色結果に近づくまで、手順 10 ~ 手順 12 の操作を繰り返してください。

14 [完了] をクリックします。

3.5.4 [色関連設定管理]

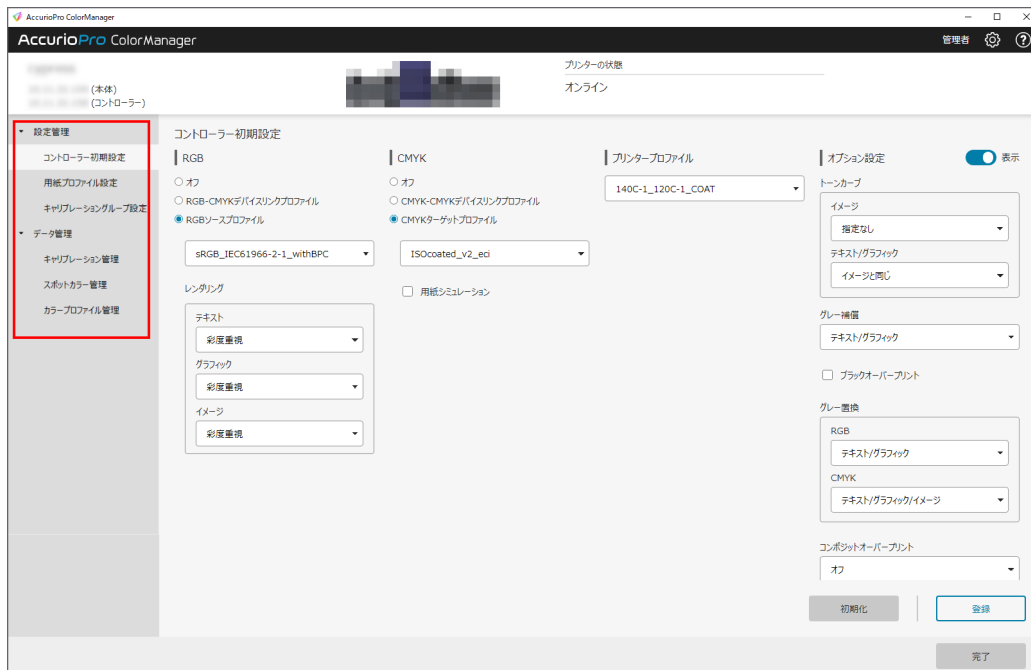
概要

色管理に必要な各種設定を管理します。

各設定画面で、[初期化] をクリックすると、入力した設定が初期化されます。

[登録] をクリックすると、設定を確認し、色管理設定が登録されます。

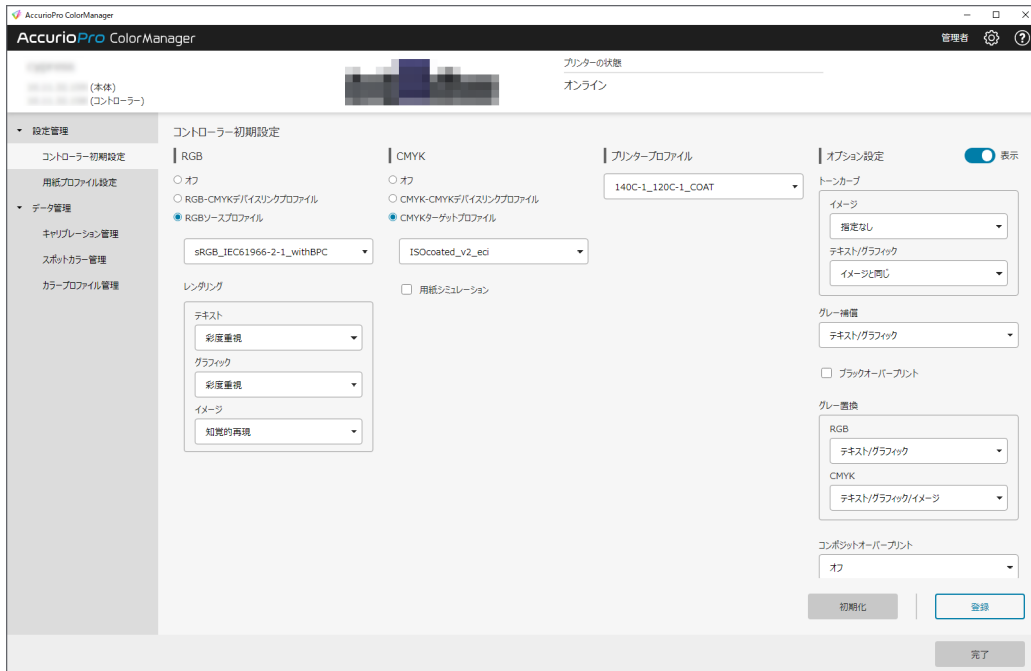
〔色関連設定管理〕 画面



画面左の項目をクリックして、入力画面を切替えてください。

設定項目	説明
〔設定管理〕	〔コントローラー初期設定〕 イメージコントローラーに登録されている色変換のカラー設定に関する設定を管理します。 トーンカーブやスポットカラー、代替色を使用するときに設定します。
	〔用紙プロファイル設定〕 登録済みの用紙プロファイルにプリンタープロファイルを設定します。
	〔キャリブレーショングループ設定〕 スクリーンごとに用紙種類のグループを設定します。 インテリジェントクオリティオプティマイザー装着時には表示されません。
〔データ管理〕	〔キャリブレーション管理〕 カラー出力を補正するためのキャリブレーションデータを管理します。
	〔スポットカラー管理〕 イメージコントローラーに登録されたスポットカラーテーブルを管理します。 スポットカラーテーブルの新規作成、登録内容の確認やデータのインポートまたはエクスポートができます。
	〔カラープロファイル管理〕 イメージコントローラーに保存されたカラープロファイルを管理します。

[コントローラー初期設定] 画面



- [RGB]

設定項目	説明
[オフ]	RGB 色変換を行いません。
[RGB-CMYK デバイスリンクプロファイル]	<p>[イメージ]</p> <p>[グラフィック]</p> <p>[テキスト]</p> <p>[RGB-CMYK デバイスリンクプロファイル] を使って RGB 色変換を行います。</p> <p>[RGB-CMYK デバイスリンクプロファイル] で色変換する際のイメージ、グラフィック、テキストに適用するプロファイルを設定できます。</p>
[RGB ソースプロファイル]	<p>[RGB ソースプロファイル] を使って RGB 色変換を行います。</p> <p>RGB 色変換に使用する [RGB ソースプロファイル] をメニューリストから選択します。</p>
[レンダリング]	<p>[イメージ]</p> <p>[グラフィック]</p> <p>[テキスト]</p> <p>[RGB ソースプロファイル] を選択時に設定できます。</p> <p>[RGB ソースプロファイル] で色変換する際のイメージ、グラフィック、テキストのレンダリング（[知覚的再現] または [彩度重視]）を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [知覚的再現]：明度を優先して再現します。色域全体を圧縮するため、階調が保持されます。写真などのビットマップ画像におすすめです。 ■ [彩度重視]：彩度を維持した色で再現します。彩度が高い部分（CMYK 色域の外縁外側）に近づけるため、色味が鮮やかになります。プレゼンテーション資料やビジネス文書などのベクター画像におすすめです。

参考

- [オプション設定] の [RGB 埋め込みプロファイルを使用] が選択されている場合は、上記の設定より埋め込みプロファイルが優先されます。

- [CMYK]

設定項目		説明
[オフ]		CMYK 色変換を行いません。
[CMYK-CMYK デバイスリンクプロファイル]	[イメージ]	[CMYK-CMYK デバイスリンクプロファイル] を使って CMYK 色変換を行います。 [CMYK-CMYK デバイスリンクプロファイル] で色変換する際のイメージ、グラフィック、テキストに適用するプロファイルを設定できます。
	[グラフィック]	
	[テキスト]	
[CMYK ターゲットプロファイル]		[CMYK ターゲットプロファイル] を使って CMYK 色変換を行います。 CMYK 色変換に使用する [CMYK ターゲットプロファイル] をメニューリストから選択します。
[用紙シミュレーション]		[用紙シミュレーション] を行うかどうかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ [用紙シミュレーション] を行う場合：[CMYK レンダリングインテント] が [絶対的な色域を維持] に設定されます。 ■ [用紙シミュレーション] を行わない場合：[CMYK レンダリングインテント] が [相対的な色域を維持] に設定されます。

- [プリンタープロファイル]

設定項目	説明
[プリンタープロファイル]	デフォルトとして使用する [プリンタープロファイル] をメニューリストから選択します。

- [オプション設定]

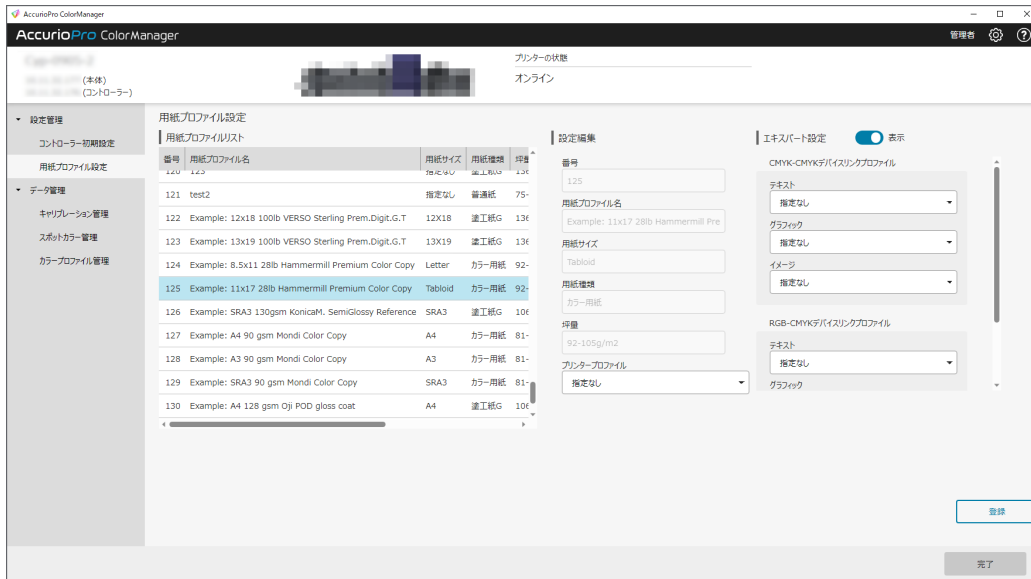
設定項目		説明
[オプション設定]		[オプション設定] の [表示] または [非表示] を切替えます。
[トーンカーブ]	[イメージ]、[テキスト/グラフィック]	[イメージ] または [テキスト/グラフィック] データに適用するトーンカーブを選択します。
[グレー補償]	[オフ]、[テキスト/グラフィック]	[グレー補償] の対象を選択します。 ブラック (グレーではない) を K 単色 (100%) で印刷する機能です。リッチブラック (CMYK) ではなく、ピュアブラック (K) で印刷します。 RGB = (0,0,0) または CMYK = (0,0,0,100) と設定されている箇所に適用されます。 [グレー補償] を行わない場合は、[オフ] に設定します。
[ブラックオーバープリント]		[ブラックオーバープリント] を行うかどうかを設定します。 K = 100% のオブジェクトに対して下色を重ねて印刷する機能です。下色を重ねるため、印刷される K はピュアブラックにはなりません。オブジェクトの周りの白抜けを防止できます。 [ブラックオーバープリント] を設定しない場合は、下色を除去してから印刷します (ノックアウト処理)。

設定項目		説明
[グレー置換]	[RGB]	<p>[グレー置換] の対象を [RGB]、[CMYK] それぞれに設定します。</p> <p>グレーをK単色（1%～99%）で印刷する機能です。R = G = B または CMYK = (0,0,0,X) と設定されている箇所に適用されます（Xは100以外）。</p> <p>ハイライトからシャドウまで、ベタ以外すべての範囲に適用でき、グレーの品質を安定させます。</p>
	[CMYK]	
[コンポジットオーバープリント]	[オフ]、[速度優先]、[画質優先]	<p>使用する [コンポジットオーバープリント] を設定します。</p> <p>オーバープリントする機能です。K = 100% に限らず、色を重ねて印刷します。画像を作成したアプリケーション上で表現した透過（色の重ね合わせ）を再現します。</p> <p>[コンポジットオーバープリント] を [オフ] に設定した場合は、オブジェクトの下色を除去してから印刷します（ノックアウト処理）。</p>
[スポットカラー]		スポットカラーテーブルを使用するかどうかを設定します。
[RGB 埋め込みプロファイルを使用]		データに埋め込まれたプロファイルを [RGB ソースプロファイル] として使用するかどうかを設定します。
[RGB シミュレーション]		<p>[RGB] の [RGB ソースプロファイル] を選択時に設定できます。</p> <p>RGB データを CMYK データに変換するときに、変換シミュレーションをターゲットの CMYK プロファイルの色空間で行うかどうかを選択します。</p> <p>RGB データでも、プリンターで色を印刷標準に近づけることができます。</p>
[代替色テーブル]		使用する [代替色テーブル] を選択します。
[CMYK 埋め込みプロファイルを使用]		データに埋め込まれたプロファイルを [CMYK ターゲットプロファイル] として使用するかどうかを設定します。
[PDF/X 出カインテント]		PDF ファイルに出カインテントとして埋め込まれたプロファイルを、[CMYK ターゲットプロファイル] として使用するかどうかを設定します。

● 共通キー

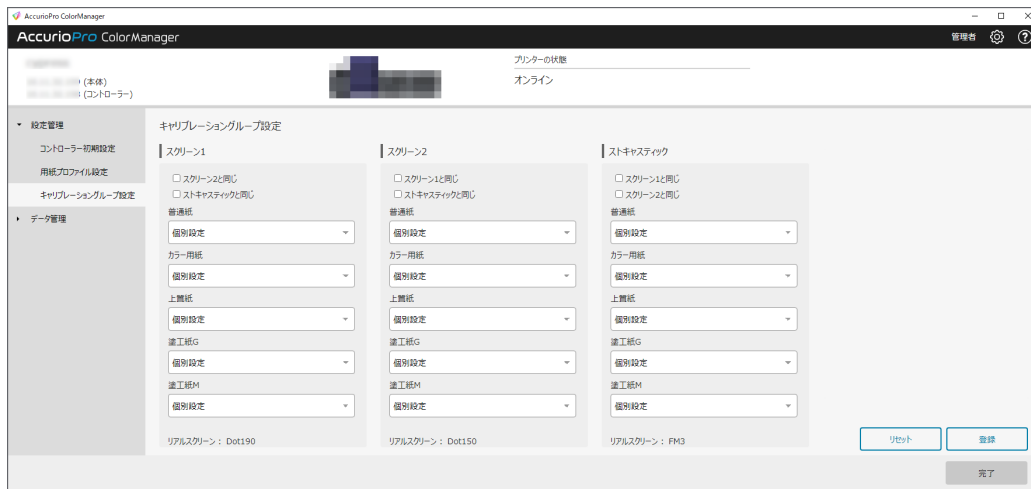
設定項目	説明
[登録]	設定内容をカラー設定のデフォルトとしてイメージコントローラーに登録します。
[初期化]	イメージコントローラーのカラー設定を工場出荷時の状態に戻します。
[完了]	[ツールメニュー] / [ワークフローメニュー] 画面に移動します。

〔用紙プロファイル設定〕画面



設定項目	説明	
〔用紙プロファイルリスト〕	イメージコントローラーに登録されている用紙プロファイルが一覧で表示されます。	
〔設定編集〕	〔番号〕	〔用紙プロファイルリスト〕で選択した設定が表示されます。編集はできません。
	〔用紙プロファイル名〕	
	〔用紙サイズ〕	
	〔用紙種類〕	
	〔坪量〕	
	〔プリンタープロファイル〕	〔用紙プロファイルリスト〕で選択した用紙に適用するプリンタープロファイルを選択します。
〔エキスパート設定〕	〔エキスパート設定〕の〔表示〕または〔非表示〕を切替えます。 〔エキスパート設定〕の設定は、〔コントローラー初期設定〕の設定より優先されます。	
〔CMYK-CMYK デバイスリンクプロファイル〕	〔テキスト〕	入力データがCMYKのときの変換処理に関する初期設定をします。 〔テキスト〕と〔グラフィック〕、〔イメージ〕それぞれに適用する〔CMYK-CMYK デバイスリンクプロファイル〕を設定します。
	〔グラフィック〕	
	〔イメージ〕	
〔RGB-CMYK デバイスリンクプロファイル〕	〔テキスト〕	入力データがRGBのときの変換処理に関する初期設定をします。 〔テキスト〕と〔グラフィック〕、〔イメージ〕それぞれに適用する〔RGB-CMYK デバイスリンクプロファイル〕を設定します。
	〔グラフィック〕	
	〔イメージ〕	
〔登録〕	設定内容を登録します。	
〔完了〕	〔ツールメニュー〕 / 〔ワークフローメニュー〕画面に移動します。	

〔キャリブレーショングループ設定〕画面



参考

- 〔キャリブレーショングループ設定〕は、インテリジェントクオリティオブティマイザー装着時は設定できません。

スクリーン単位で、用紙種類ごとのキャリブレーションデータを個別に持つか、流用するかどうかを設定します。

この設定では、スクリーンの用紙種類のうち1つを必ず〔個別設定〕に設定してください。

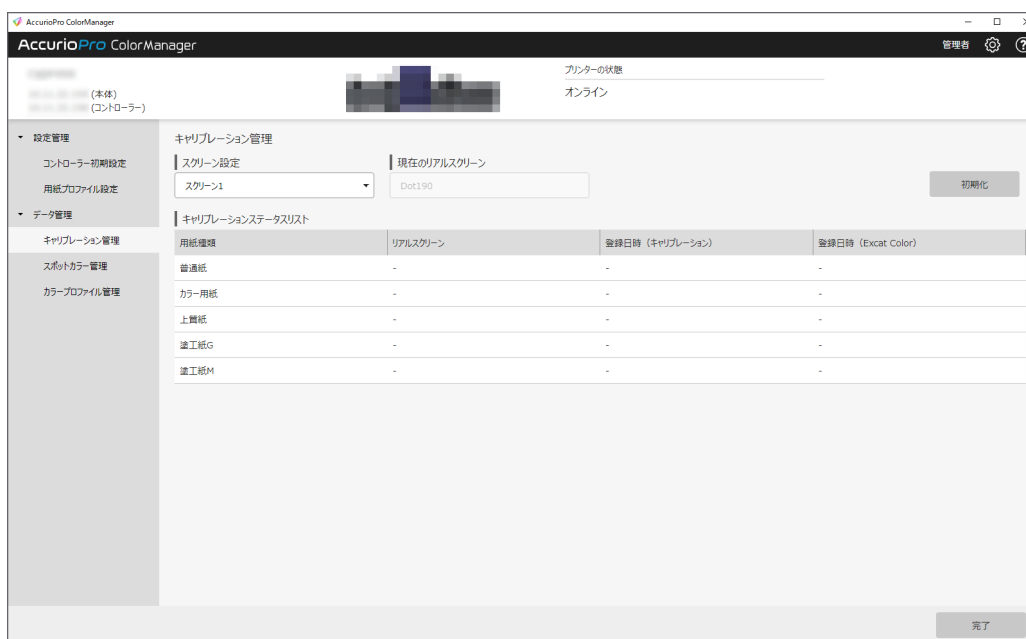
● 手順の例

1. [スクリーン 1] で、実際にキャリブレーションを行う用紙種類を選択し、[個別設定] に設定します (例：[普通紙] を [個別設定] に設定)。
2. 手順 1 で設定した用紙種類以外 (例：[普通紙] 以外) に [個別設定] または他の用紙のキャリブレーションデータを流用する (例：[普通紙] と共通にする) かどうかを選択します。
※ 用紙の特性が大きく異なるキャリブレーションデータを流用した場合、画質に影響がでる場合があります。
3. [スクリーン 2] で、[スクリーン 1] と同じ設定にするかどうかを選択します。
4. 手順 3 で、[スクリーン 1] と同じ設定にしない場合は、[スクリーン 2] の用紙種類に [個別設定] を設定するか他の用紙のキャリブレーションデータを流用するかどうかを設定します。手順は、手順 1 ～ 手順 2 と同様です。
5. [ストキャストック] も [スクリーン 1] または [スクリーン 2] と同じ設定にするかどうかを選択します。手順は、手順 3 ～ 手順 4 と同様です。

設定項目		説明
[スクリーン 1]	[スクリーン 2 と同じ]	チェックボックスにチェックを入れると、[スクリーン 2] と同じ設定を使用します。
	[ストキャストックと同じ]	チェックボックスにチェックを入れると、[ストキャストック] と同じ設定を使用します。
	用紙種類	用紙種類ごとに適用する設定を選択します。
	[リアルスクリーン:]	[スクリーン 1] に設定されているリアルスクリーンが表示されます。

設定項目		説明
[スクリーン 2]	[スクリーン 1 と同じ]	チェックボックスにチェックを入れると、[スクリーン 1] と同じ設定を使用します。
	[ストキャスティックと同じ]	チェックボックスにチェックを入れると、[ストキャスティック] と同じ設定を使用します。
	用紙種類	用紙種類ごとに適用する設定を選択します。
	[リアルスクリーン :]	[スクリーン 1] に設定されているリアルスクリーンが表示されます。
[ストキャスティック]	[スクリーン 1 と同じ]	チェックボックスにチェックを入れると、[スクリーン 1] と同じ設定を使用します。
	[スクリーン 2 と同じ]	チェックボックスにチェックを入れると、[スクリーン 2 と同じ] と同じ設定を使用します。
	用紙種類	用紙種類ごとに適用する設定を選択します。
	[リアルスクリーン :]	[スクリーン 1] に設定されているリアルスクリーンが表示されます。
[リセット]		設定内容をリセットします。
[登録]		設定内容をイメージコントローラーに登録します。
[完了]		[ツールメニュー] / [ワークフローメニュー] 画面に移動します。

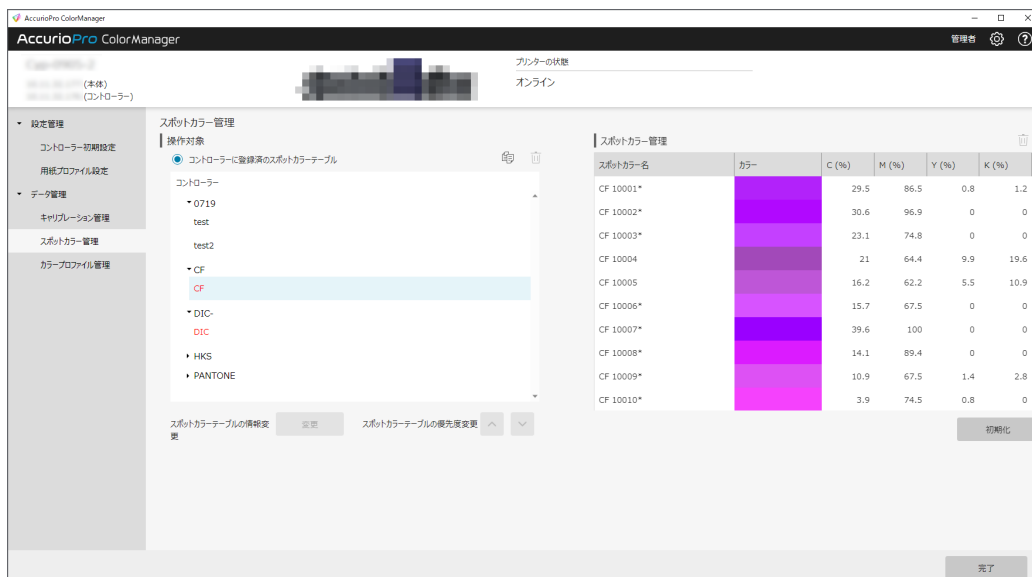
[キャリブレーション管理] 画面









設定項目	説明
[スクリーン設定]	スクリーンタイプを選択します。
[現在のリアルスクリーン]	キャリブレーションデータ登録時にプリンターで設定されていたリアルスクリーン名が表示されます。 [カスタムスクリーン] を選択した場合は、グレーアウトします。

設定項目	説明
[キャリブレーションステータスリスト]	[スクリーン設定] で選択したスクリーンタイプの [用紙種類] ごとの [リアルスクリーン] とキャリブレーションデータの登録日時を確認します。
[初期化]	イメージコントローラーに登録されているキャリブレーションテーブルおよび Exact Color テーブルを工場出荷時の状態に戻します。 重要 クリックすると、[スクリーン 1] が表示されている場合でも、他のスクリーンの設定もすべて初期化されます。操作には十分ご注意ください。
[完了]	[ツールメニュー] / [ワークフローメニュー] 画面に移動します。

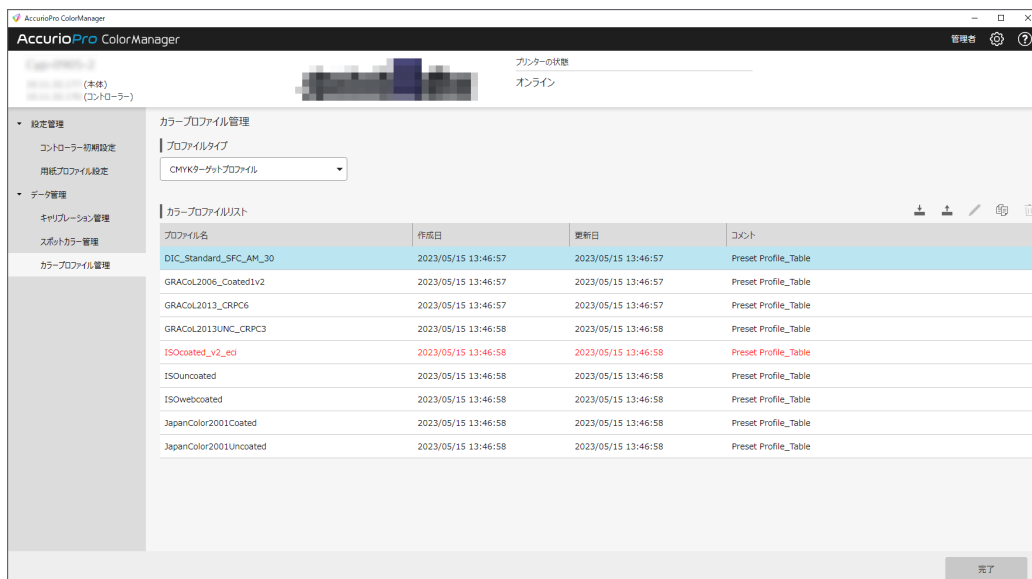
[スポットカラー管理] 画面








設定項目	説明
[操作対象]	[コントローラーに登録済みのスポットカラーテーブル] ラジオボタンをオンにすると、操作対象を登録済みのスポットカラーテーブルにします。
[スポットカラー管理]	スポットカラーテーブルリスト 操作対象で選択したスポットカラーテーブルが Prefix ごとに優先度が高い順に一覧で表示されます。 プリセットのスポットカラーテーブルは赤字で表示されます。
	スポットカラーテーブルをエクスポートします。
	スポットカラーテーブルを複製します。
	スポットカラーテーブルを削除します。 プリセットのスポットカラーテーブルは削除できません。

設定項目			説明
[スポットカラーテーブルの情報変更]			[変更] をクリックすると、スポットカラーテーブルの情報変更ダイアログが表示されます。 プリセットのスポットカラーテーブルは変更できません。
[スポットカラーテーブルの優先度変更]			選択したスポットカラーテーブルの優先度を上げます。
			選択したスポットカラーテーブルの優先度を下げます。
			選択したスポットカラーテーブルを削除します。 プリセットのスポットカラーテーブルは、削除できません。
スポットカラー詳細リスト			スポットカラーテーブルリストで選択したテーブルのスポットカラーが一覧で表示されます。
[初期化]			イメージコントローラーのスポットカラー設定を工場出荷時の状態にします。
[完了]			[ツールメニュー] / [ワークフローメニュー] 画面に移動します。

[カラープロファイル管理] 画面



設定項目	説明
[プロファイルタイプ]	[カラープロファイルリスト] に表示する [プロファイルタイプ] をメニューリストから選択します。
[カラープロファイルリスト]	イメージコントローラーに登録されたカラープロファイルのうち、[プロファイルタイプ] で選択されたカラープロファイルを一覧で表示します。 デフォルトに設定されているプロファイルは赤字で表示されます。
	エクスプローラーを開いて、選択したカラープロファイルをインポートします。

設定項目	説明
	[カラープロファイルリスト] で選択したカラープロファイルをエクスポートします。 表示されたエクスプローラーで選択したパスに、icc ファイルを生成します。
	[カラープロファイルリスト] で選択したカラープロファイルを編集します。[保存名] の編集や入力、[コメント] の追加ができます。 デフォルトに設定されているプロファイルは編集できません。
	[カラープロファイルリスト] で選択したカラープロファイルを複製します。 デフォルトに設定されているプロファイルは複製できません。
	[カラープロファイルリスト] で選択したカラープロファイルを削除します。 デフォルトに設定されているプロファイルは削除できません。
[完了]	[ツールメニュー] / [ワークフローメニュー] 画面に移動します。

3.5.5 [スポットカラー作成]

概要

スポットカラーおよびスポットカラーテーブルの登録や編集をします。

未登録のスポットカラーを新たに追加したり、思ったように再現されないスポットカラーを調整したりできます。



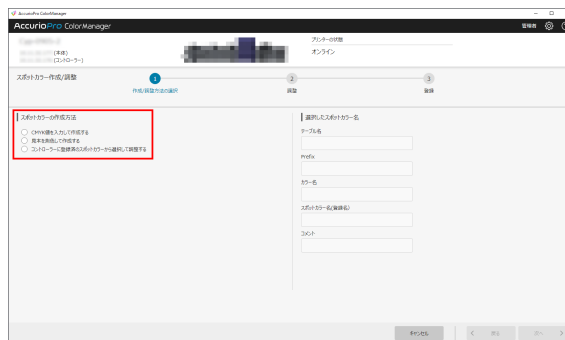
参考

- [スポットカラー作成] を行う場合は、先に色見本を準備してください。スポットカラーの調整は、色見本に合わせて行います。

手順

- 1 [ツールメニュー] の [スポットカラー作成] をクリックします。
設定画面が表示されます。

- 2 [スポットカラーの作成方法] で作成方法を選択し、[次へ] をクリックします。



設定項目	説明
[CMYK 値を入力して作成する]	作成するスポットカラーの CMYK 値を手動で入力します。 手順 3 へ進んでください。
[見本を測色して作成する]	作成するスポットカラーの CMYK 値を、見本を測色して入力します。 手順 4 へ進んでください。
[コントローラーに登録済みのスポットカラーから選択して調整する]	登録済みスポットカラーを選択し、それをもとに調整します。 手順 5 へ進んでください。

- 3 手順 2 で [CMYK 値を入力して作成する] を選択した場合は、作成するスポットカラーの CMYK 値を手動で入力し、[適用] をクリックします。
- ✓ 値が確定すると、プレビュー表示に反映されます。
 - ✓ [次へ] をクリックし、手順 6 へ進んでください。



- 4 手順 2 で [見本を測色して作成する] を選択した場合は、以下の項目を設定し、[適用] をクリックします。
- ✓ [次へ] をクリックし、手順 6 へ進んでください。

見本を測色して作成

色見本を測定してスポットカラーを登録します。

測色器
MYIRO-1 (USB) [測色開始]

照明条件
ISO 13655 M0

測色結果

C	0.0 %	L*	0.0
M	0.0 %	a*	0.0
Y	0.0 %	b*	0.0
K	0.0 %		

[キャンセル] [適用]

設定項目	説明
[測色器]	測色器をメニューリストから選択します。
[照明条件]	照明条件をメニューリストから選択します。
[測色開始]	見本を測色します。 選択した測色器に応じて表示される画面の指示に従って操作してください。 測色が完了したら、プレビュー表示に反映されます。

- 5 手順 2 で [コントローラーに登録済のスポットカラーから選択して調整する] を選択した場合は、[検索するスポットカラー名] にスポットカラー名を入力して [検索] をクリックします。
- 該当するスポットカラーが一覧で表示されます。
- ✓ 一覧から使用するスポットカラー名を選択し、[次へ] をクリックします。手順 6 へ進んでください。

AccurioPro Color Manager

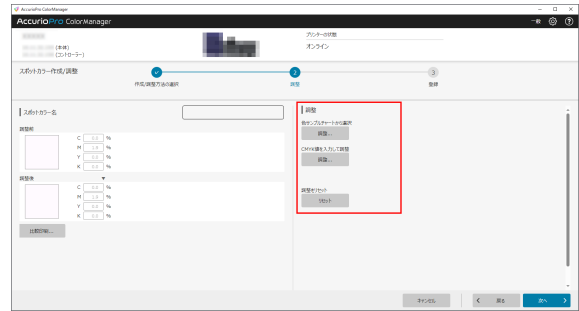
検索するスポットカラー名

検索

検索結果

プレビュー

- 6 [調整] で、スポットカラーの調整方法を選択します。



設定項目	説明
[色サンプルチャートから選択]	出力したチャートを使用して、CMYK 値を調整したスポットカラーの微調整をします。出力したチャートの色調を見ながら行う一般的な調整方法です。手順 7 へ進んでください。
[CMYK 値を入力して調整]	スポットカラーの CMYK 値を手動で入力して調整します。スポットカラーの色調を CMYK 値から予測する高度な調整方法です。手順 8 へ進んでください。

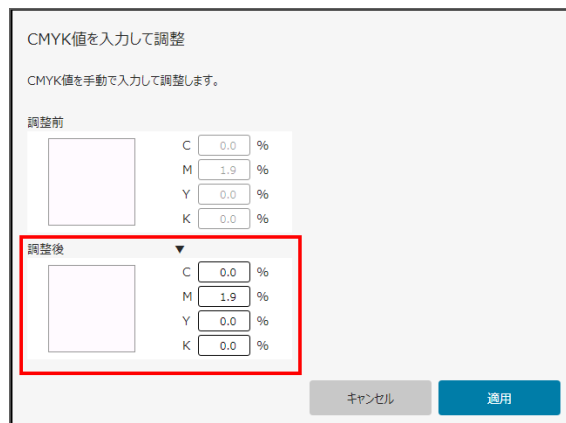
- 7 手順 6 で [色サンプルチャートから選択] を選択した場合は、[チャートの刻み [1...10]] を入力し、[チャート印刷 ...] をクリックします。

- ✓ 出力したチャートを確認し、事前に用意した色見本と見比べて近似色のパッチを選択します。
- ✓ [適用] をクリックし、手順 9 へ進んでください。

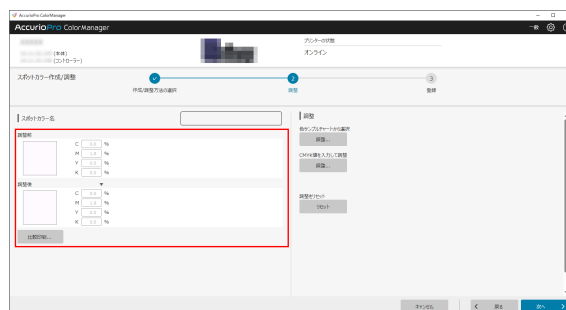


設定項目	説明
[チャートの刻み [1...10]]	選択したスポットカラーを中心値として CMYK 値を指定した変化量 (%) で 8 段階に変化させたカラーチャートが、CMYK の変更方法が異なる 9 つのグループごとに表示されます。
[チャート印刷 ...]	チャートを出力します。
[近似色のパッチを選択]	スポットカラーに適用するカラーパッチのグループと番号を設定します。

- 8 手順 6 で [CMYK 値を入力して調整] を選択した場合は、CMYK 値を入力します。
- ✓ 入力値に応じて、[調整後] のプレビュー表示が更新されます。
 - ✓ [適用] をクリックし、手順 9 へ進んでください。



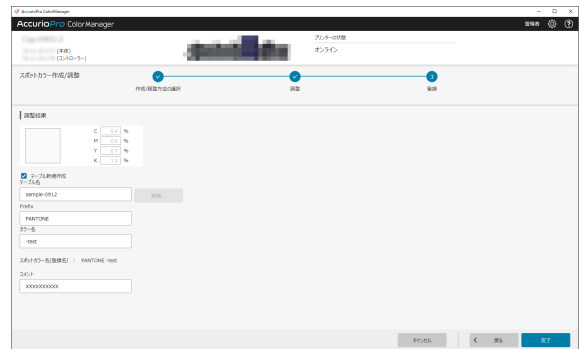
- 9 [調整後] のプレビュー表示を確認し、手順 7 または手順 8 を繰り返します。



- 10 [比較印刷...] をクリックすると表示されるダイアログで、給紙トレイを選択し、[印刷] をクリックします。
- ✓ 印刷結果を確認し、必要に応じて手順 1 ~ 手順 9 を繰り返します。

- 11 調整したスポットカラーを登録する場合は、[次へ] をクリックします。

12 以下の項目を設定し、スポットカラーを登録します。



設定項目	説明
[テーブル新規作成]	スポットカラーテーブルを新規作成する場合は、チェックボックスにチェックを入れます。
[テーブル名]	[テーブル新規作成] する場合：登録するスポットカラーテーブル名を入力します。 [テーブル新規作成] しない場合：イメージコントローラーに登録済みのテーブル名を選択し、上書き登録します。 [詳細 ...] をクリックすると、スポットカラーテーブルの詳細が表示されます。
[Prefix]	[テーブル新規作成] でチェックを入れた場合は、登録する Prefix 文字列を入力します。
[カラー名]	登録するスポットカラー名を入力します。
[コメント]	コメントを任意で入力します。

13 [完了] をクリックします。

3.5.6 [濃度バランス調整]

概要

インテリジェントクオリティオプティマイザーおよびスキャナー非装着時は、AccurioPro ColorManager で [濃度バランス調整] を行います。出力したチャートを測色器で測定し、測定結果のフィードバックに従って、濃度バランスを自動補正します。

参考

- インテリジェントクオリティオプティマイザーまたはスキャナー装着時は、プリンターで [濃度バランス調整] を行います。プリンターの [濃度バランス調整] について詳しくは、プリンターのユーザーズガイドをごらんください。

参考

- 事前に [ガンマ自動調整] を行ってから、本調整を行ってください。
- [濃度バランス調整] で [色管理プリセット] を使用する場合は、事前に [ターゲットコンフィグレーション] と [色管理プリセット] を設定してください。

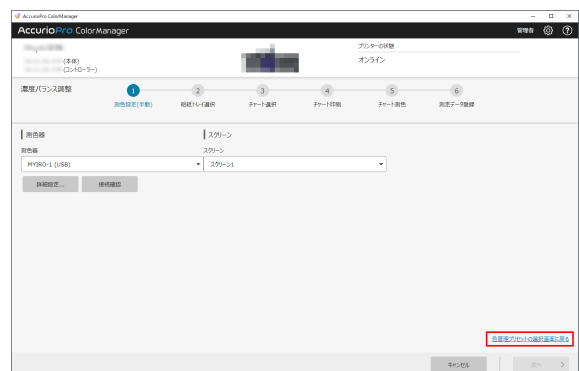
→ 参照

- [ターゲットコンフィグレーション] について詳しくは、3-19 ページをごらんください。
- [色管理プリセット] について詳しくは、3-23 ページをごらんください。

手順

- 1 [ツールメニュー] の [濃度バランス調整] をクリックします。
設定画面が表示されます。

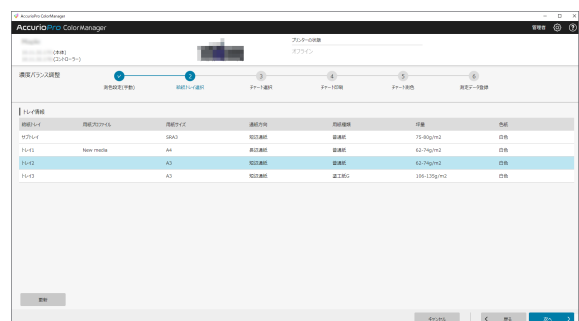
- 2 [測色器] および [スクリーン] を設定し、
[次へ] をクリックします。
 - ✓ [測色器]：測色器を選択後、[接続確認] をクリックし、接続を確認します。
[詳細設定 ...] で測色回数を変更することもできます。
 - ✓ [スクリーン]：スクリーンタイプを選択します。
 - ✓ [色管理プリセット] を使用する場合は、[色管理プリセットの選択画面に戻る] をクリックします。設定画面で [色管理プリセット] を選択し、[次へ] をクリックします。手順 5 へ進んでください。



測色器の接続に失敗した場合

1. 接続失敗のダイアログが表示されたら、測色器がコンピューターに正しく接続されていることを確認し、[接続] をクリックします。
2. 再接続ができない場合は、一時的に他の測色器に変更することができます。[測色器] のメニューリストから接続可能な他の測色器を選択して [接続] をクリックします。測色器の接続が完了すると、ダイアログが閉じて元の画面に戻ります。

- 3 [給紙トレイ選択] でチャート出力に使用する給紙トレイを選択し、[次へ] をクリックします。
 - ✓ 以下のいずれかの用紙がセットされている給紙トレイを選択してください。
 - ✓ 12 × 18 / SRA3 / 13 × 19 / 11 × 17 / A3



4 [チャートタイプ] を選択し、[次へ] をクリックします。

- ✓ プリンターと測色器の組み合わせによって、選択できるチャートタイプが異なります。

測色器	チャートタイプ	
	カラープリンター	モノクロプリンター
FD-9 / MYIRO-1	<ul style="list-style-type: none"> ■ [簡易測定チャート (8 階調対応)] ■ [詳細測定チャート (16 階調対応)] 	<ul style="list-style-type: none"> ■ [iSis 用測定チャート (16 点測定対応)]
iX-Pro	<ul style="list-style-type: none"> ■ [簡易測定チャート (1 階調対応)] ■ [詳細測定チャート (3 階調対応)] 	<ul style="list-style-type: none"> ■ [i1Pro 用測定チャート (3 点測定対応)]
FD-5 / MYIRO-1 / FD-7	<ul style="list-style-type: none"> ■ [簡易測定チャート (1 階調対応)] ■ [詳細測定チャート (3 階調対応)] ■ [スリッパ測定チャート (3 階調対応)] 	<ul style="list-style-type: none"> ■ [FD-5/MYIRO-1 用測定チャート (3 点測定対応)] ■ [FD-5/MYIRO-1 用測定チャート (スリッパ測定対応)]

5 [チャート印刷] 画面で [測色方法] を選択し、[次へ] をクリックしてチャートを出力します。

- ✓ プリンターの種類によって操作が異なります。

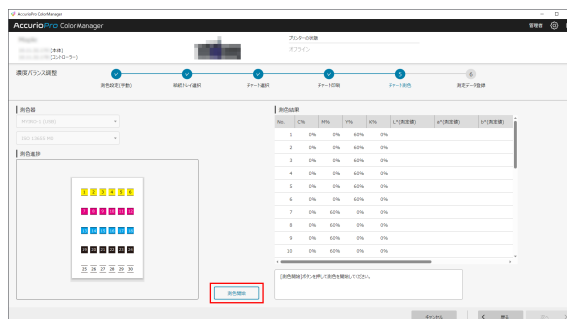
設定項目	カラープリンター	モノクロプリンター
[チャートを印刷して測色]	チャート出力を実行し、[チャート測色] 画面に移動します。	[チャート測色] 画面に移動します。 出力操作は、プリンターの操作パネルで行います。
[印刷済のチャートを測色]	出力済みのチャートを測色します。チャートは出力されません。	

6 [測色開始] をクリックし、出力したチャートを測色します。

[測色進捗] に測色の進捗がイメージで表示されます。

[測色結果] に測色結果が表示されます。

- ✓ 測色器 i1 iO を接続している場合は、チャートの位置補正のため、3 点入力をします。[測色開始] が [測色実行] に切替わったらクリックし、測色を開始します。



-
- 7 [次へ] をクリックします。
[測定データ登録] 画面が表示されます。

 - 8 [調整値プロファイルリスト] の一覧から登録 No. を選択し、[登録名] で登録名を入力します。

 - 9 [完了] をクリックします。
 - ✓ カラープリンターの場合：プリンターに測定データを送信し、登録します。
 - ✓ モノクロプリンターの場合：プリンターに測定データを送信します。プリンターのタッチパネルで測定データの登録操作をしてください。

3.5.7 [用紙別カラーセンサー調整]

概要

用紙に合わせたセンサーの調整値を作成して登録します。

用紙特性に合わせたセンサー調整値を使用することで、より精度の高い濃度の測定ができます。

インテリジェントクオリティオプティマイザー装着時は、チャートを出力することで、自動で測定データが登録されます。詳しくは、プリンターのユーザーズガイドをごらんください。

インテリジェントクオリティオプティマイザー非装着時は、出力したチャートを測色器で測色して測定データを登録します。



参考

- この機能を使用するには、プリンターの [出力紙濃度調整] - [基本設定] で [出力紙濃度調整の使用] を [する] に設定してください。
- [用紙別カラーセンサー調整] で [色管理プリセット] を使用する場合は、事前に [ターゲットコンフィグレーション] と [色管理プリセット] を設定してください。



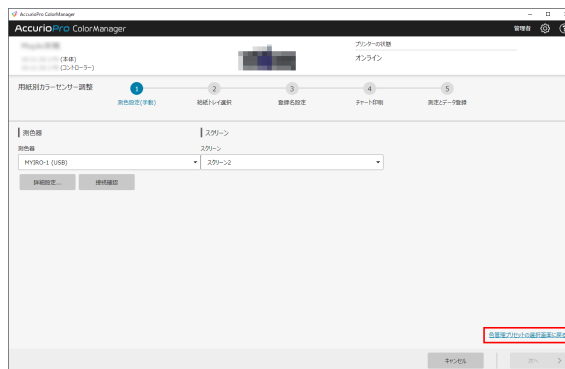
参照

- [ターゲットコンフィグレーション] について詳しくは、3-19 ページをごらんください。
- [色管理プリセット] について詳しくは、3-23 ページをごらんください。

手順

- 1 [ツールメニュー] の [用紙別カラーセンサー調整] をクリックします。
設定画面が表示されます。

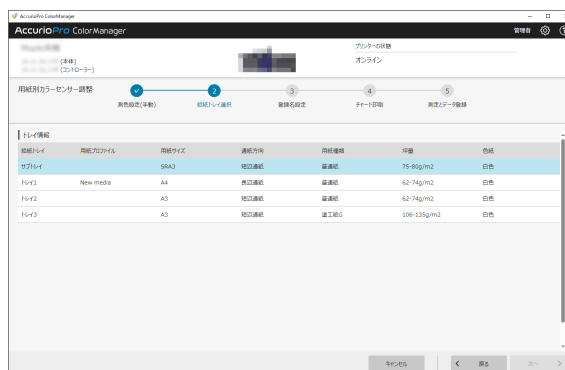
- 2 [測色器] および [スクリーン] を設定し、[次へ] をクリックします。
- ✓ [測色器]：測色器を選択後、[接続確認] をクリックし、接続を確認します。
[詳細設定 ...] で測色回数を変更することもできます。
 - ✓ [スクリーン]：スクリーンタイプを選択します。
 - ✓ [色管理プリセット] を使用する場合は、[色管理プリセットの選択画面に戻る] をクリックします。設定画面で [色管理プリセット] を選択し、[次へ] をクリックします。手順 4 へ進んでください。



測色器の接続に失敗した場合

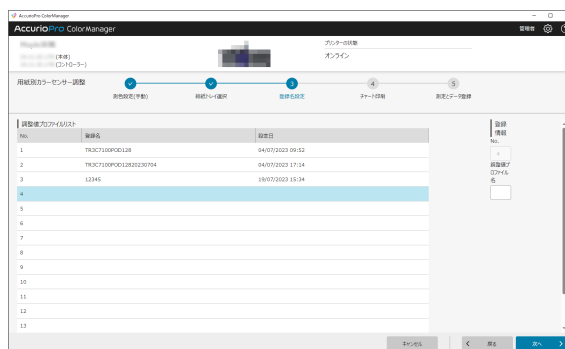
1. 接続失敗のダイアログが表示されたら、測色器がコンピューターに正しく接続されていることを確認し、[接続] をクリックします。
2. 再接続ができない場合は、一時的に他の測色器に変更することができます。[測色器] のメニューリストから接続可能な他の測色器を選択して [接続] をクリックします。測色器の接続が完了すると、ダイアログが閉じて元の画面に戻ります。

- 3 チャート出力に使用する給紙トレイを選択し、[次へ] をクリックします。



- 4 [調整値プロファイルリスト] の一覧から登録 No. を選択し、[登録名] で登録名を入力します。

- ✓ モノクロプリンターの場合：プリンターのタッチパネルで登録する番号を選択し、[印刷モードへ] を押してから、AccurioPro ColorManager で [次へ] をクリックします。
- ✓ [登録名] に半角英数字以外は使用できません。

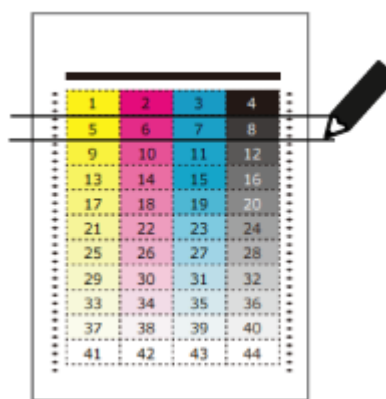


- 5 [チャート印刷] 画面で [測色方法] を選択し、[次へ] をクリックしてチャートを出力します。
- ✓ プリンターの種類によって操作が異なります。

設定項目	カラープリンター	モノクロプリンター
[チャートを印刷して測色]	チャート出力を実行し、[チャート測色] 画面に移動します。	[チャート測色] 画面に移動します。 出力操作は、プリンターの操作パネルで行います。
[印刷済のチャートを測色] *	出力済みのチャートを測色します。チャートは出力されません。	

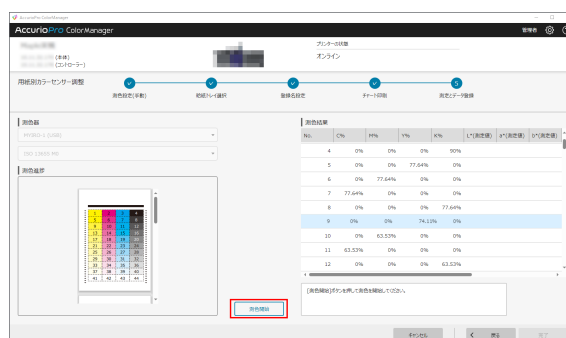
* : インテリジェントクオリティオプティマイザー非装着時は、表示されません。

- 6 出力したチャートは、[チャートプレビュー] を参考に 44 個に分割するようにパッチ間に水平線を引きます。



- 7 [測色開始] をクリックし、出力したチャートを測色します。
- [測色進捗] に測色の進捗がイメージで表示されます。
- [測色結果] に測色結果が表示されます。

- ✓ 測色器 i1 iO を接続している場合は、チャートの位置補正のため、3 点入力をします。[測色開始] が [測色実行] に切替わったらクリックし、測色を開始します。



- 8 [完了] をクリックします。
- ✓ カラープリンターの場合：プリンターに測定データを送信し、登録します。
 - ✓ モノクロプリンターの場合：プリンターに測定データを送信します。プリンターのタッチパネルで測定データの登録操作をしてください。

3.5.8 [最高濃度調整]

概要

サービスエンジニア（CE）によって設定された目標濃度値とのズレを補正して、印刷品質を保ちます。

[最高濃度調整] は、色味のベースとなる最も重要な調整です。高いレベルの画像品質を常に求める場合は、最高濃度の管理を日々行うことをおすすめします。

また、通常の調整でコントローラーキャリブレーションを行った結果、目標値に対して最高濃度がずれている場合は、[最高濃度調整] を行ってください。

AccurioPro ColorManager は、オプションのインテリジェントクオリティオプティマイザーおよび RU オプション非装着の場合に、測色器を使用して [最高濃度調整] を行います。



参考

- インテリジェントクオリティオプティマイザーまたは中継搬送ユニット RU-518m 装着時は、チャートを出力することで自動で調整できます。詳しくは、プリンターのユーザーズガイドをごらんください。



参考

- 事前に [ガンマ自動調整] を行ってから、本調整を行ってください。
- [最高濃度調整] で [色管理プリセット] を使用する場合は、事前に [ターゲットコンフィグレーション] と [色管理プリセット] を設定してください。



参照

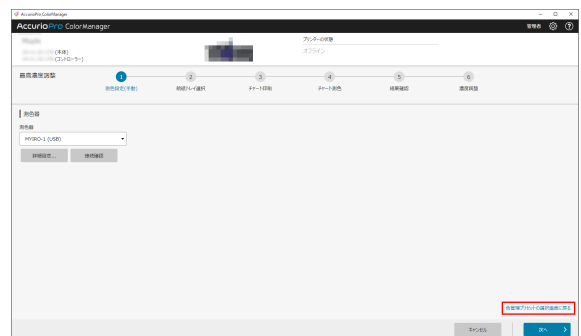
- [ターゲットコンフィグレーション] について詳しくは、3-19 ページをごらんください。
- [色管理プリセット] について詳しくは、3-23 ページをごらんください。

手順

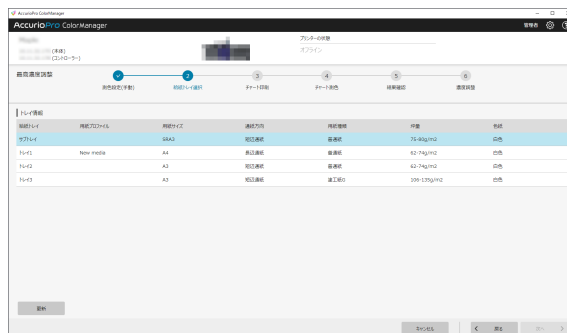
- 1 [ツールメニュー] の [最高濃度調整] をクリックします。
設定画面が表示されます。

- 2 [測色器] を設定し、[次へ] をクリックします。

- ✓ [測色器]：測色器を選択後、[接続確認] をクリックし、接続を確認します。
[詳細設定 ...] で測色回数を変更することもできます。
- ✓ [色管理プリセット] を使用する場合は、[色管理プリセットの選択画面に戻る] をクリックします。設定画面で [色管理プリセット] を選択し、[次へ] をクリックします。手順 4 へ進んでください。

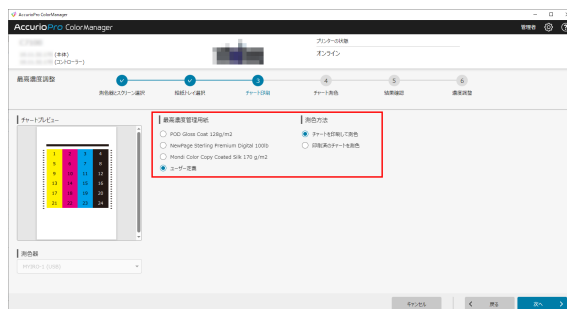


- 3 チャート出力に使用する給紙トレイを選択し、[次へ] をクリックします。



- 4 [最高濃度管理用紙] と [測色方法] を選択し、[次へ] をクリックしてチャートを出力します。

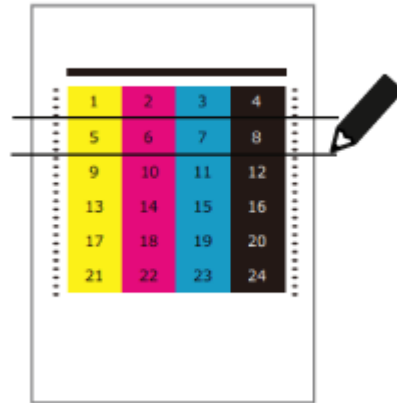
プリンターの種類によって操作が異なります。



設定項目	カラープリンター	モノクロプリンター
[調整するプリンター (タンデムののみ)]*	-	[本体 1] または [本体 2] のどちらを調整するか選択します。
[最高濃度管理用紙]	目標濃度を登録するときを使用した用紙を選択します。 登録されていない用紙を使用すると、正しく調整できません。	
[チャートを印刷して測色]	チャート出力を実行し、[チャート測色] 画面に移動します。	[チャート測色] 画面に移動します。 出力操作は、プリンターの操作パネルで行います。
[印刷済のチャートを測色]	出力済みのチャートを測色します。チャートは出力されません。	

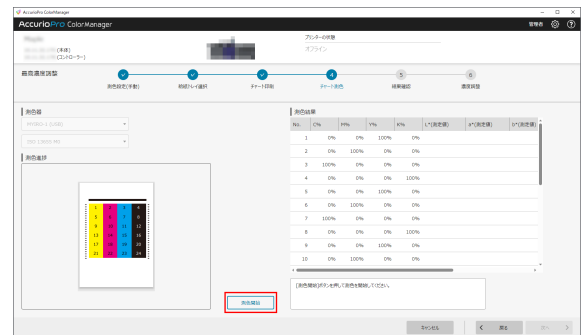
* : タンデム機の場合だけ表示されます。

- 5 出力したチャートは、[チャートプレビュー] を参考に 24 個に分割するようにパッチ間に水平線を引きます。



- 6 [測色開始] をクリックし、出力したチャートを測色します。
[測色進捗] に測色の進捗がイメージで表示されます。

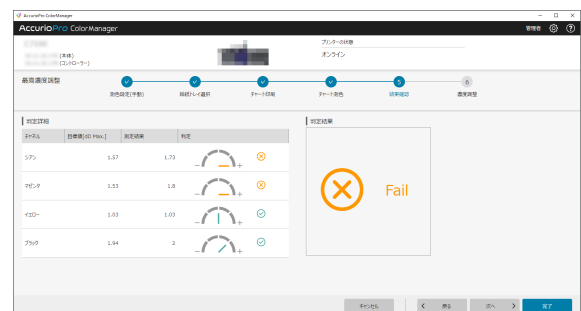
- [測色結果] に測色結果が表示されます。
- ✓ 測色器 i1 iO を接続している場合は、チャートの位置補正のため、3 点入力をします。[測色開始] が [測色実行] に切替わったらクリックし、測色を開始します。




- 7 測色が完了したら、[次へ] をクリックします。

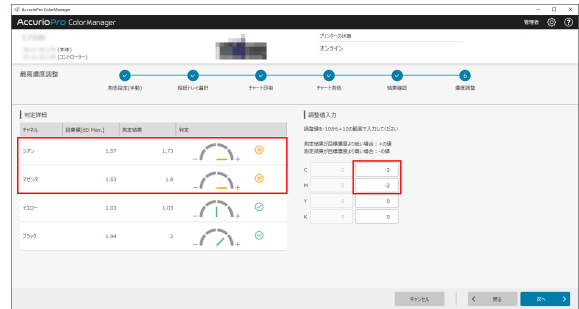
- 8 [判定詳細] と [判定結果] を確認します。

- ✓ 調整を終了する場合は、[完了] をクリックします。
- ✓ 手順 4 の [最高濃度管理用紙] で [ユーザー定義] を選択した場合は、[判定結果] を確認後、プリンターのタッチパネルで数値を入力して調整してください。
- ✓ 再度調整する場合は、[次へ] をクリックします。手順 9 へ進んでください。



9 [判定詳細] で  が表示されている色は、[調整値入力] で値を入力し、[次へ] をクリックします。

- ✓ 測定結果が目標濃度より低い場合は+の値を、測定結果が目標濃度より高い場合は-の値を入力します。
- ✓ モノクロプリンターの場合は、この画面は表示されません。プリンターのタッチパネルで調整値を入力してください。



10 チャートを出力します。操作は手順 4 ~ 手順 5 と同様です。

11 目的の結果が得られるまで、手順 5 ~ 手順 10 を繰り返します。

- ✓ 用紙によって、濃度の変化量は異なります。できるだけ目的の濃度に近づくように、調整を繰り返してください。

3.5.9 [キャリブレーション]

概要

現在出力している各単色 (CMYK) の濃度を測定して、階調性を維持するためのキャリブレーションデータを作成します。

安定したカラー出力を維持するために日常的に行ってください。

参考

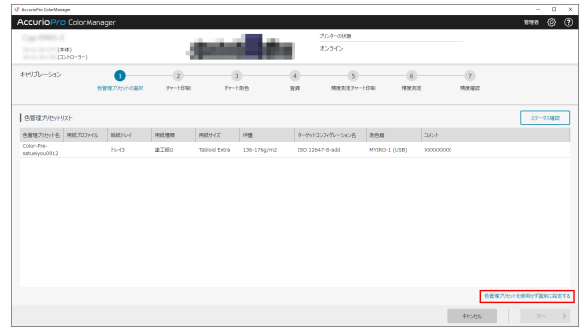
- この機能は、KM コントローラー装着時だけ使用できます。EFI 社製のイメージコントローラー装着時は、Command WorkStation を使用します。AccurioPro ColorManager の操作は不要です。
- この機能を使用するには、プリンターの [出力紙濃度調整] - [基本設定] で [出力紙濃度調整の使用] を [しない] に設定してください。

手順

1 [ツールメニュー] の [キャリブレーション] をクリックします。
設定画面が表示されます。

2 [色管理プリセットリスト] でキャリブレーションに使用する [色管理プリセット] を選択します。

- ✓ [次へ] をクリックすると、測色器への接続確認が行われ、設定画面が開きます。手順 4 へ進んでください。
- ✓ [測色器の接続に失敗しました。] のダイアログが表示されたら、3-29 ページの手順 2 を参照し、測色器を再接続してください。
- ✓ [色管理プリセット] の設定項目を手動で設定してプロファイルを作成する場合は、[色管理プリセットを使用せず個別に設定する] をクリックします。手順 3 へ進んでください。



3 手順 2 で [色管理プリセットを使用せず個別に設定する] を選択した場合は、[測色器とスクリーンの選択] を設定したあと、[給紙トレイ選択] を設定し、[次へ] をクリックします。

設定項目		説明
[測色器とスクリーンの選択]	[測色器]	測色器を選択後、[接続確認] をクリックし、接続を確認します。[詳細設定 ...] で測色回数を変更することもできます。
	[スクリーン]	スクリーンタイプを選択します。
[給紙トレイ選択]		チャート出力に使用する給紙トレイを選択します。

4 以下の項目を設定し、[次へ] をクリックしてチャートを出力します。

- ✓ [アカウント選択] で [一般] を選択している場合は、以下の項目は設定できません。



設定項目		説明
[印刷設定]	[部数]	チャートの出力部数を入力します。
[ガンマ補正を行う]		[ガンマ自動調整] を行う場合は、チェックボックスにチェックを入れます。

設定項目		説明
[測色方法]	[チャートを印刷して測色]*	チャートを出力して測定します。
	[印刷済みのチャートを測色]	出力済みのチャートを測定します。手順 6 に進みます。
	[測色済みのデータを読み込む]	測定済みの測色データを読み込みます。 1. 選択ダイアログで、測定済みのデータファイルを選択します。 2. 選択したデータをもとに色検証結果が計算されます。手順 7 へ進みます。

* :

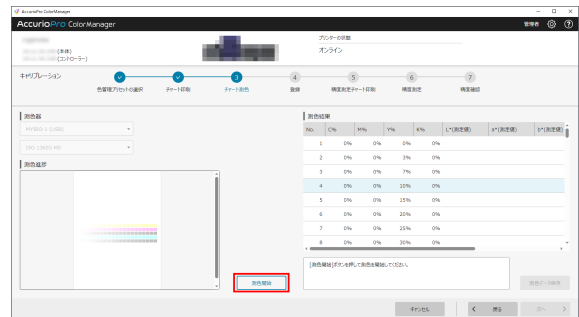
- [チャートを印刷して測色] を選択した場合、[次へ] をクリックしたときに確認ダイアログが表示されることがあります。確認ダイアログは、チャート出力に設定した用紙と、給紙トレイの用紙設定が一致しない場合に表示されます。用紙設定を変更するか、給紙トレイの用紙を入替えて、[OK] をクリックしてください。
- [設定変更] をクリックすると、使用する給紙トレイの用紙設定を変更できます。

5 [測色開始] をクリックし、出力したチャートを測色します。

[測色進捗] に測色の進捗がイメージで表示されます。

[測色結果] に測色結果が表示されます。

- ✓ 測色器 i1 iO を接続している場合は、チャートの位置補正のため、3 点入力をします。[測色開始] が [測色実行] に切替わったらクリックし、測色を開始します。



6 測色が完了したら、[測色データ保存] をクリックします。 測色データが CGATS 形式で保存されます。

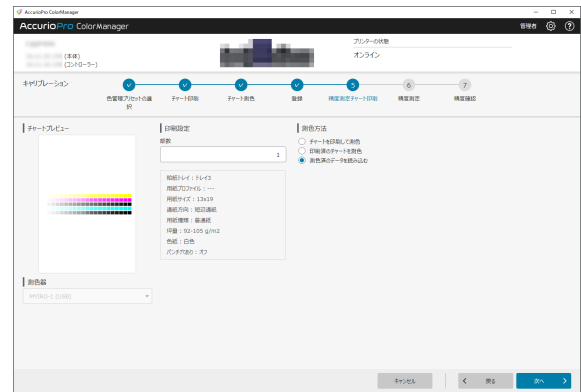
7 濃度測定結果を確認します。

- ✓ キャリブレーションテーブルを登録する場合は、[完了] をクリックします。キャリブレーションが完了します。
- ✓ キャリブレーションテーブルを登録後、続けて精度測定をする場合は、[次へ] をクリックします。手順 8 に進んでください。



8 精度測定チャートを出力します。操作は手順 4 と同様です。

- ✓ ここでは、[ガンマ補正を行う] は選択できません。



9 [精度測定] 画面で、手順 9 で出力したチャートを測色します。操作は手順 5 ～ 手順 6 と同様です。

10 測定結果を確認します。

11 [完了] をクリックします。

キャリブレーションが完了します。

- ✓ 高度なコントローラーキャリブレーションを行う場合は、Exact Color (3-63 ページ) または G7 キャリブレーション (3-65 ページ) をごらんください。

3.5.10 [Exact Color キャリブレーション]

概要

混色（2色または3色を混ぜたときの色やグレーバランス）を調整することで、色再現の精度を高めます。

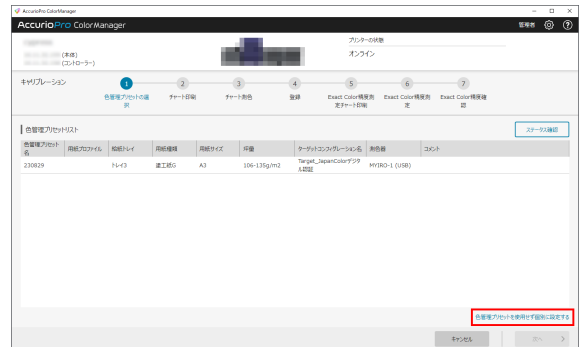
参考

- この機能は、KM コントローラー装着時だけ使用できます。EFI 社製のイメージコントローラー装着時は、Command WorkStation を使用します。AccurioPro ColorManager の操作は不要です。

手順

- 1 [ツールメニュー] の [Exact Color キャリブレーション] をクリックします。
設定画面が表示されます。

- ✓ [調整] - [画質調整] の [出力紙濃度調整] で、[出力紙濃度調整の使用] を [する] に設定している場合は、キャリブレーションを行いません。手順 4 に進んでください。



- 2 3-60 ページの手順 2 ~ 手順 6 を参照して、キャリブレーションを行います。

- 3 測定結果を確認します。

- ✓ キャリブレーションテーブルを登録する場合は、[完了] をクリックします。キャリブレーションが完了します。
- ✓ 続けて Exact Color (精度測定) を行う場合は、[次へ] をクリックします。手順 4 に進んでください。

- 4 Exact Color 精度測定チャートを出力し、測色を行います。操作は 3-60 ページの手順 8 ~ 手順 10 と同様です。



- 5 測定結果を確認します。

- 6 [測色結果] で補正テーブルを選択し、[登録] をクリックします。

- ✓ 精度測定を終了する場合は、[完了] をクリックします。
- ✓ フィードバック精度測定チャートを確認する場合は、[次へ] をクリックし、チャート出力と測色を行います。



参考

- チャートの出力と測色を繰り返すと、精度が向上します。

3.5.11 [G7 キャリブレーション]

概要

各単色（CMYK）カーブを調整します。グレーバランスを制御することで、色再現の精度を高めます。



参考

- この機能は、KM コントローラー装着時だけ使用できます。EFI 社製のイメージコントローラー装着時は、Command WorkStation を使用します。AccurioPro ColorManager の操作は不要です。

手順

- 1 [ツールメニュー] の [G7 キャリブレーション] をクリックします。
設定画面が表示されます。



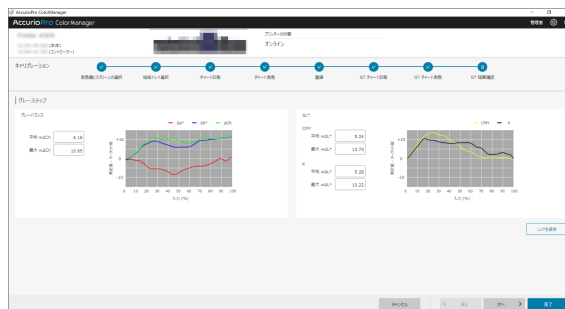
- 2 3-60 ページの手順 2 ～ 手順 6 を参照して、キャリブレーションを行います。

- 3 測定結果を確認します。
 - ✓ キャリブレーションテーブルを登録する場合は、[完了] をクリックします。キャリブレーションが完了します。
 - ✓ 続けて G7 キャリブレーションを行う場合は、[次へ] をクリックします。手順 4 に進んでください。

- 4 G7 精度測定チャートを出力し、測色を行います。操作は 3-60 ページの手順 8 ～ 手順 10 と同様です。

5 測定結果を確認します。

- ✓ 精度測定を終了する場合は、[完了] をクリックします。
- ✓ 測定結果のグーバランスまたは ΔL^* のいずれかの値が、目標範囲に収まっていない場合は、[キャリブレーション再計算] ダイアログが表示されます。手順 6 へ進んでください。



6 目標範囲に収めるようにキャリブレーションテーブルを再計算する場合は、[再計算] をクリックします。

補正データを再計算します。

- ✓ 補正データの再計算の前にレポートを印刷する場合は、[補正データの再計算前に、レポート印刷を行う] のチェックボックスにチェックを入れます。
- ✓ キャリブレーションテーブルを再計算せずにそのまま登録する場合は、[キャンセル] をクリックします。

7 手順 6 で再計算をした場合は、再度精度測定することをおすすめします。

- ✓ 操作は、手順 4 と同様です。

8 測定結果を確認します。

- ✓ 精度測定を終了する場合は、[完了] をクリックします。

4

よくあるご質問

4 よくあるご質問

Q. プリンターの IP アドレスはどこで確認できますか？

A. プリンターのタッチパネルの [管理者設定] で確認ができます。詳しくは、プリンターのユーザーズガイドの [TCP/IP 設定] をご覧ください。

Q. イメージコントローラーと接続できません。

A. 本体の電源がオンになっているか確認してください。また、本体が管理者モードの場合は接続できません。

Q. どのようなときに AccurioPro ColorManager にアクセスできなくなりますか？

A. 以下の設定がされている場合は、AccurioPro ColorManager が使用できません。使用する場合は、プリンターの管理者にお問い合わせください。

- セキュリティ強化モードが設定されている
 - タッチパネルに搭載されているブラウザを使用している
-

Q. 高度なコントローラーキャリブレーションを Exact Color から G7 キャリブレーションに切替えるには、どうすればよいですか？

A. サービス実施店にお問い合わせください。

Q. AccurioPro ColorManager がユーザーの個人データを使用することはありますか？

A. ユーザーの個人情報は取扱いません。

Q. ライセンスの有効期限が切れるとどうなりますか？

A. [色検証] と [プロファイル作成] の機能が使用できなくなります。

Q. コンピューターが壊れたためにライセンス移行ができない場合は、どうすればよいですか？

A. サービス実施店にお問い合わせください。

Q. ライセンスを無効化しないまま、AccurioPro ColorManager をアンインストールしてしまいました。ライセンスを無効にするには、どうすればよいですか？

A. AccurioPro ColorManager をアンインストールしたコンピューターに再度 AccurioPro ColorManager をインストールしてください。ライセンスを無効化したあと、AccurioPro ColorManager をアンインストールしてください。

 参照

- ライセンスを無効にする手順について詳しくは、2-6 ページ（オンライン）または 2-8 ページ（オフライン）をごらんください。
-

5

著作権／ライセンス情報

5 著作権／ライセンス情報

5.1 AccurioPro ColorManager

ライセンスファイルについて詳しくは、「License.zip」内のファイルをご確認ください。

ユーザーズガイドのダウンロードページで機種を選択すると、「License.zip」がダウンロードできるようになります。

<https://www.btapac.konicaminolta.com/download/driver.html#contents>



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ジャパン株式会社

製造元
コニカミノルタ株式会社